

横浜町保健事業実施計画
(データヘルス計画)
《平成28年度～平成29年度》

平成29年3月

横浜町

目 次

第1章 総論	1
1. 保健事業実施計画（データヘルス計画）基本的事項	1
(1) 背景	1
(2) 保健事業実施計画（データヘルス計画）の位置づけ	2
(3) 計画期間	4
第2章 各論	5
1. 横浜町の状況	5
(1) 人口・被保険者の状況	5
(2) 平均寿命・健康寿命と死亡の状況	6
(3) これまでの取り組み	9
2. 健康・医療情報の分析及び分析結果に基づく健康課題の把握	13
(1) 健診の分析	13
(2) 医療費の状況	20
(3) 介護の状況	25
(4) 横浜町の健康課題	26
3. 目的・目標の設定	27
(1) 本町の目的	27
(2) 成果目標	27
4. その他の保健事業	28
(1) がん	28
(2) こころの健康	28
(3) 子どもの生活習慣病	28
(4) 重複受診者への適切な受診指導	28
(5) COPD	28
5. 事業実施計画(データヘルス計画)の評価方法の設定	29
6. 実施計画(データヘルス計画)の見直し	29
7. 計画の公表・周知	29
8. 個人情報の保護	29
9. その他計画策定に当たっての留意事項	29
資料編	31

第1章 総論

1. 保健事業実施計画（データヘルス計画）基本的事項

（1）背景

わが国の急速な高齢化に伴い、高齢者に対する社会保障、中でも医療保障の在り方は、極めて大きな問題である。

医療保険、介護保険の給付費用は、2025年には社会保障費の50%を超え、年金給付額を上回るといわれている。このような未来予測を少しでも回避する為には、国民の意識を変え、予防可能な疾患（生活習慣病の大半）を予防することにより医療費の抑制を図る必要がある。

さて、近年、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト等」という。）の電子化の進展、国保データベース(KDB)システム^{※1}（以下「KDB」という。）等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んでいる。

こうした中、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においても、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされた。

これまで、横浜町においては、レセプト等や統計資料等を活用することにより、「特定健診等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきたところであるが、今後は、さらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開や、ポピュレーションアプローチ^{※2}から重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていく計画である。

厚生労働省においては、こうした背景を踏まえ、国民健康保険法（昭和33年法律第192号）第82条第4項の規定に基づき厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。）の一部を改正し、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクル^{※3}に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うものとした。

横浜町においては、保健事業実施指針に基づき、「保健事業実施計画（データヘルス計画）」を定め、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防等の保健事業の実施及び評価を行うものとする。

※1 国保連合会が保険者の委託を受けて行う業務を通じて管理する「医療」、「介護」、「健診」の情報等を活用し、統計情報等を保険者へ提供することで、保険者の効率的かつ効果的な保健事業の実施をサポートするために構築されたシステム。

※2 対象を一部に限定しないで、集団全体へアプローチをし、リスクを下げていく考え方。

※3 Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善していく手法。

(2) 保健事業実施計画（データヘルス計画）の位置づけ

保健事業実施計画（データヘルス計画）とは、健康・医療情報を活用してPDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。計画の策定及び計画の事業評価にあたっては、特定健康診査の結果、レセプト、KDBシステムの健康医療情報等のデータを活用して行う。（図1、図3）

また、保健事業実施計画（データヘルス計画）は、以下の計画と整合性を持って策定する。

①国や県の計画

- ・21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次））
- ・健康あおもり21概念図（図3）

②横浜町の分野別計画

- ・健康なのはな21計画（第2次）（図4）
- ・横浜町特定健康診査等実施計画（第2期）
- ・横浜町第6期高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画

図1)

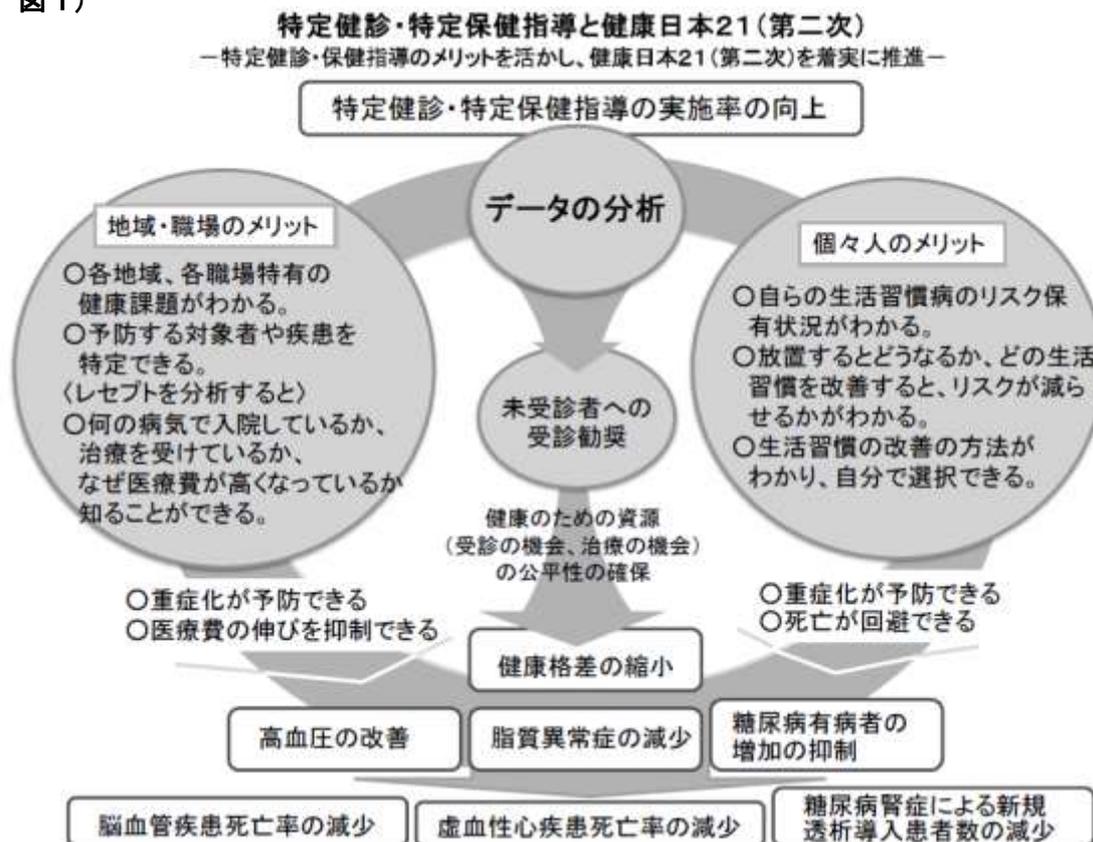


図2)

保健事業(健診・保健指導)PDCAサイクル

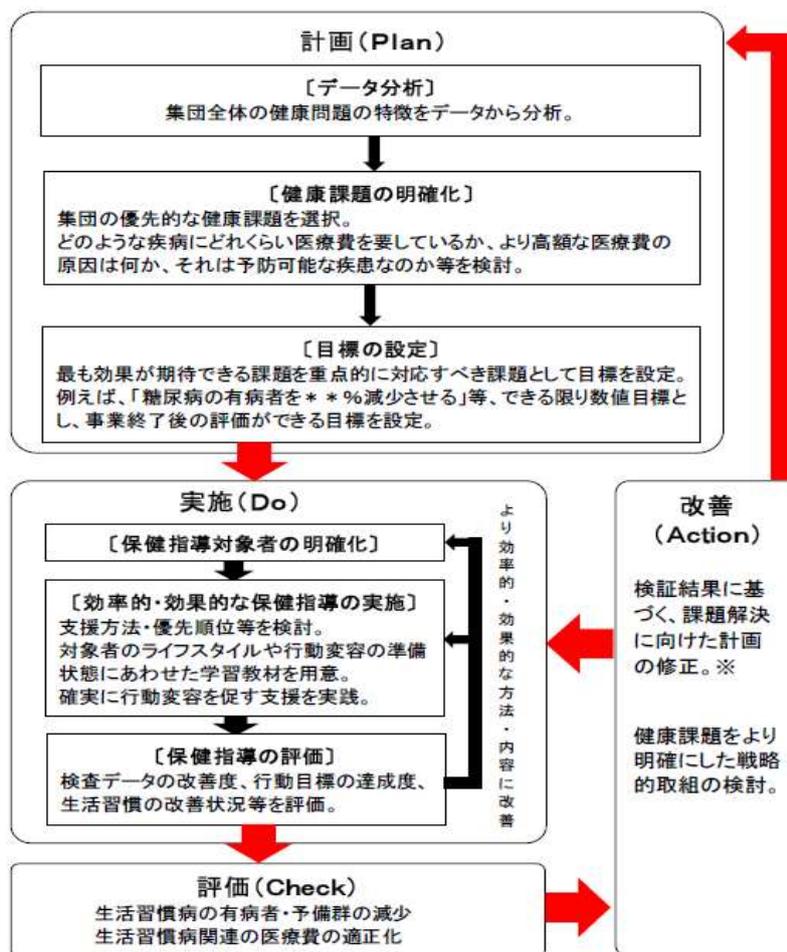


図3) 健康あおもり21 概念図

《 健康あおもり21(第2次)概念図 》

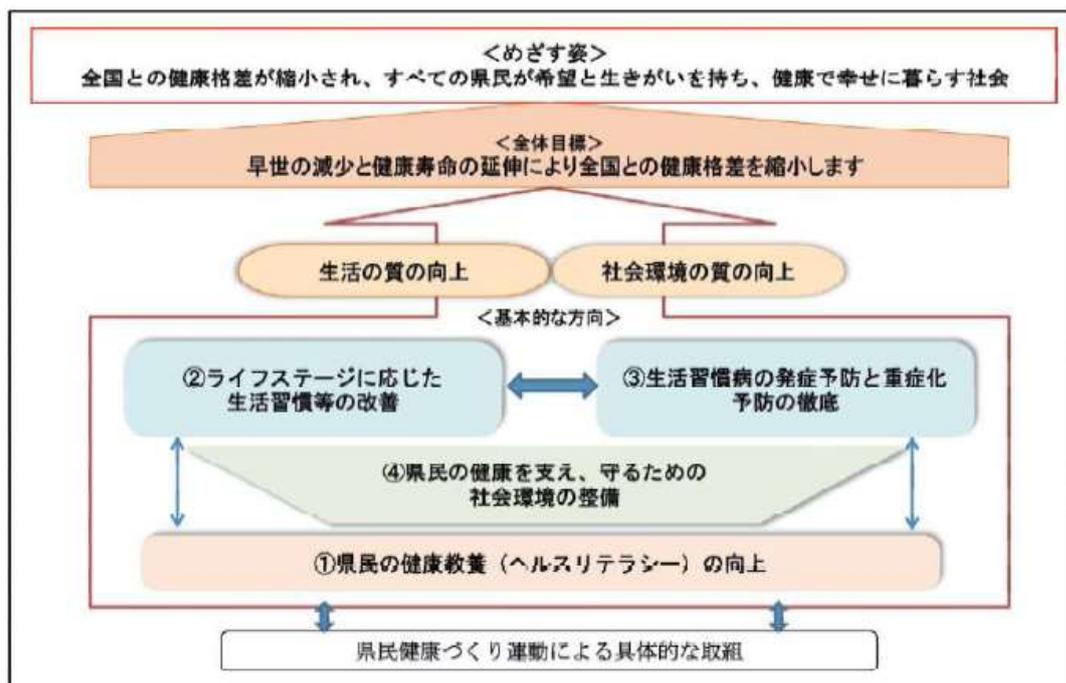
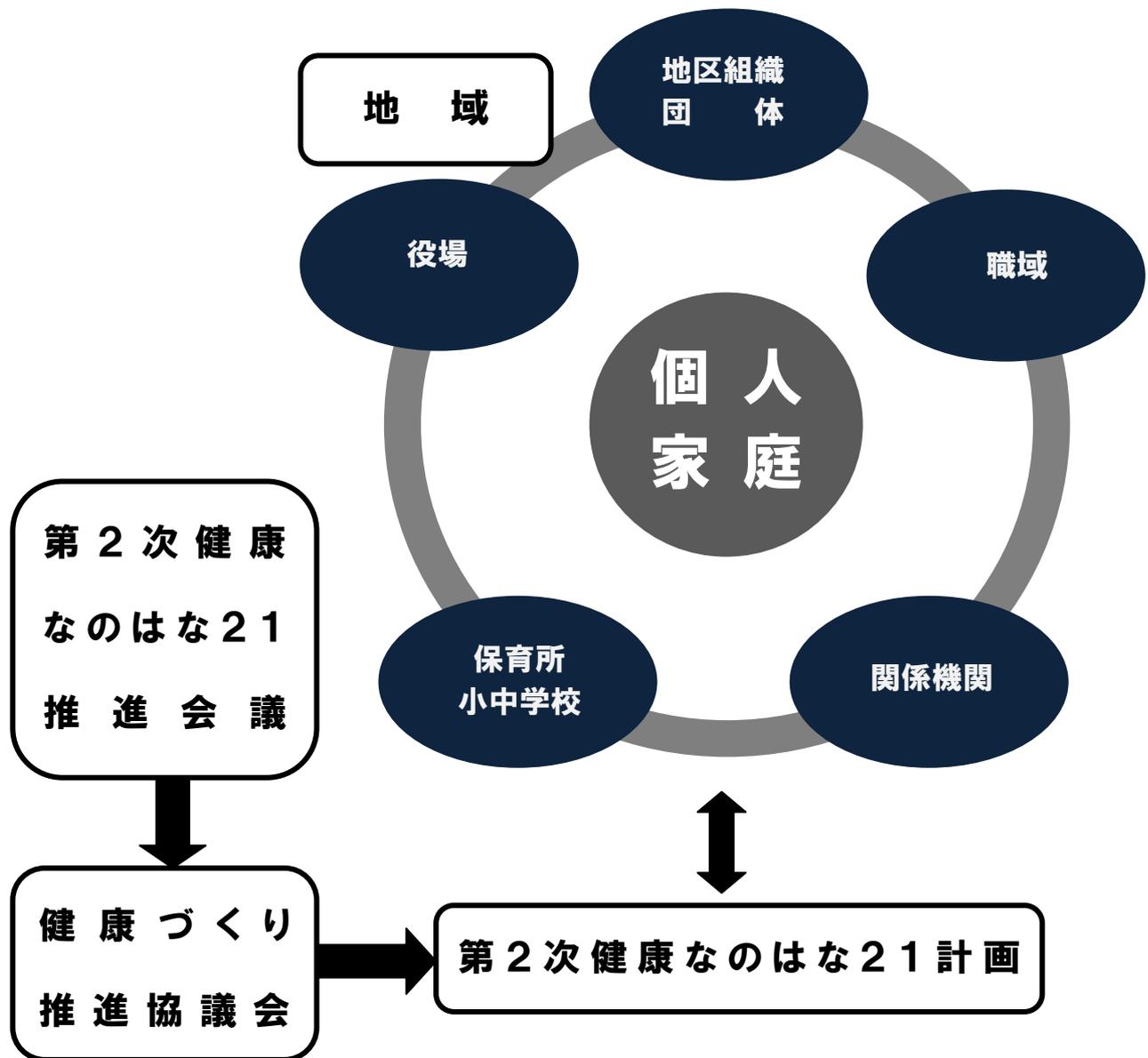


図4)

<推進体制図>



(3) 計画期間

計画期間については、関係する計画との整合性を図るため、保健事業実施指針第4の5において、「特定健診等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」としていることを踏まえ、具体的には、平成28年度中に保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定し、計画期間は、横浜町特定健康診査等実施計画（第2期）の最終年度である平成29年度までとする。

第2章 各論

1. 横浜町の状況

(1) 人口・被保険者の状況

横浜町の65歳以上の高齢者の比率は30.9%で国、県に比較して高く、今後も高齢化は進むものと思われる。

人口と被保険者数

	横浜町	県	国
人口	4,871人	1,363,393人	124,852,975人
被保険者	1,640人	379,963人	33,767,446人
国保加入率	33.7%	27.9%	27.0%
高齢化率(65歳以上)	30.9%	25.9%	23.2%

資料：KDB「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成27年度(累計)）」

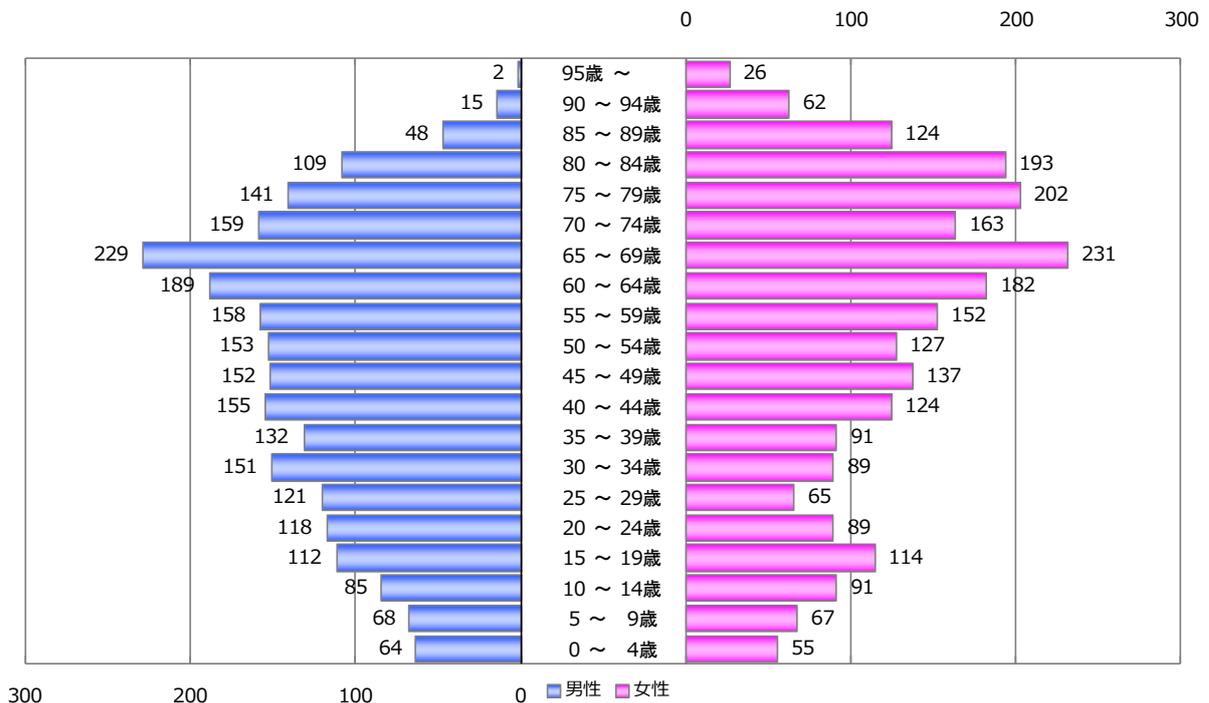
年代別人口構成

	横浜町	県	国
40歳未満	35.7%	38.4%	42.8%
40～64歳	33.4%	35.7%	34.0%
65～74歳	15.1%	12.7%	12.0%
75歳以上	15.8%	13.2%	11.2%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成27年度(累計)）」

図5)

横浜町の人口ピラミッド (2016年10月1日現在)



(2) 平均寿命・健康寿命と死亡の状況

①平均寿命・健康寿命

横浜町の平均寿命^{※1}は、男性が国より2.0歳低く、女性が0.3歳低くなっている。

一方、健康寿命^{※2}をみると、男性は国より1.3歳低く、女性は0.2歳低くなっている。

平均寿命・健康寿命

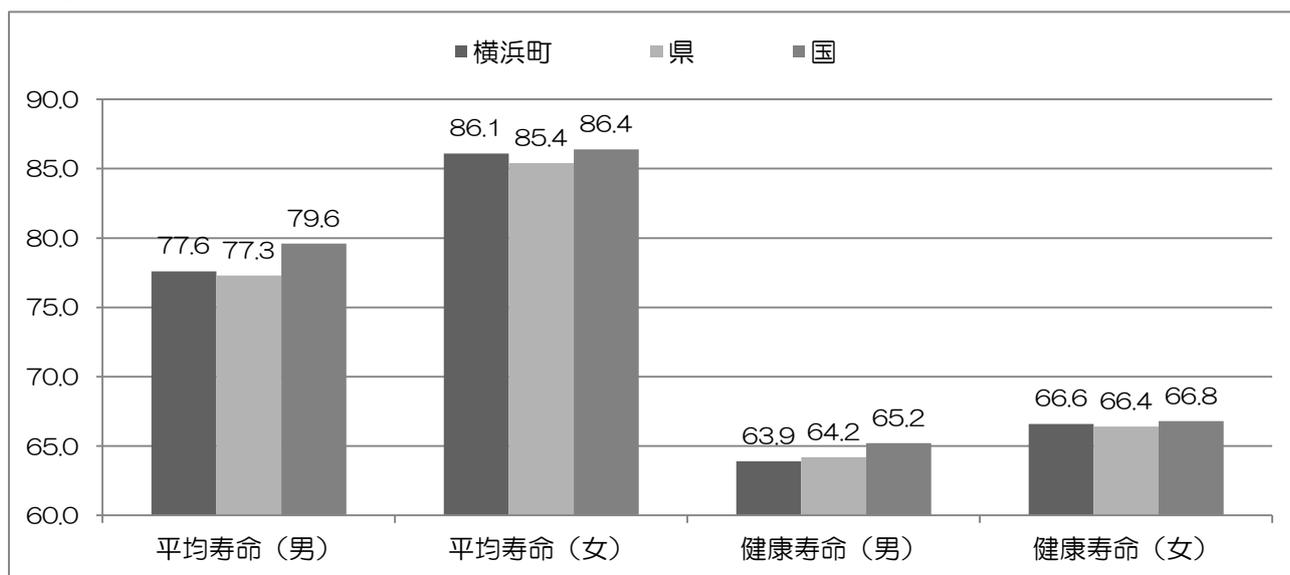
	横浜町	県	国
平均寿命（男）	77.6歳	77.3歳	79.6歳
平均寿命（女）	86.1歳	85.4歳	86.4歳
健康寿命（男）	63.9歳	64.2歳	65.2歳
健康寿命（女）	66.6歳	66.4歳	66.8歳

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成27年度(累計)）」

※1 その年に生まれた者が、その後何年生きられるかという期間。

※2 健康上の理由で、日常生活が制限されない期間。

図6)



②標準化死亡比

横浜町の標準化死亡比^{※1}では男性が国の1.4倍となっている。

また、疾病別では、糖尿病（男女）、心疾患（男性）、脳血管疾患（男女）、肺炎（男女）、肝疾患（男女）、腎不全（男女）が多くなっている。

●標準化死亡比（平成22年～26年）

	死亡総数	悪性新生物					
		総数	胃	肝臓	肺	子宮	大腸
男	139.8	118.8	93.7	84.2	100.6		155.2
女	105.5	87.3	87.9	33.6	91.4	133.9	69.1

	糖尿病	心疾患 (高血圧を除く)	脳血管疾患
男	232.9	152.3	207.0
女	267.7	98.9	131.9

	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
男	131.0	174.5	191.7	166.1	163.3	132.5
女	137.0	333.2	163.4	98.5	79.9	-

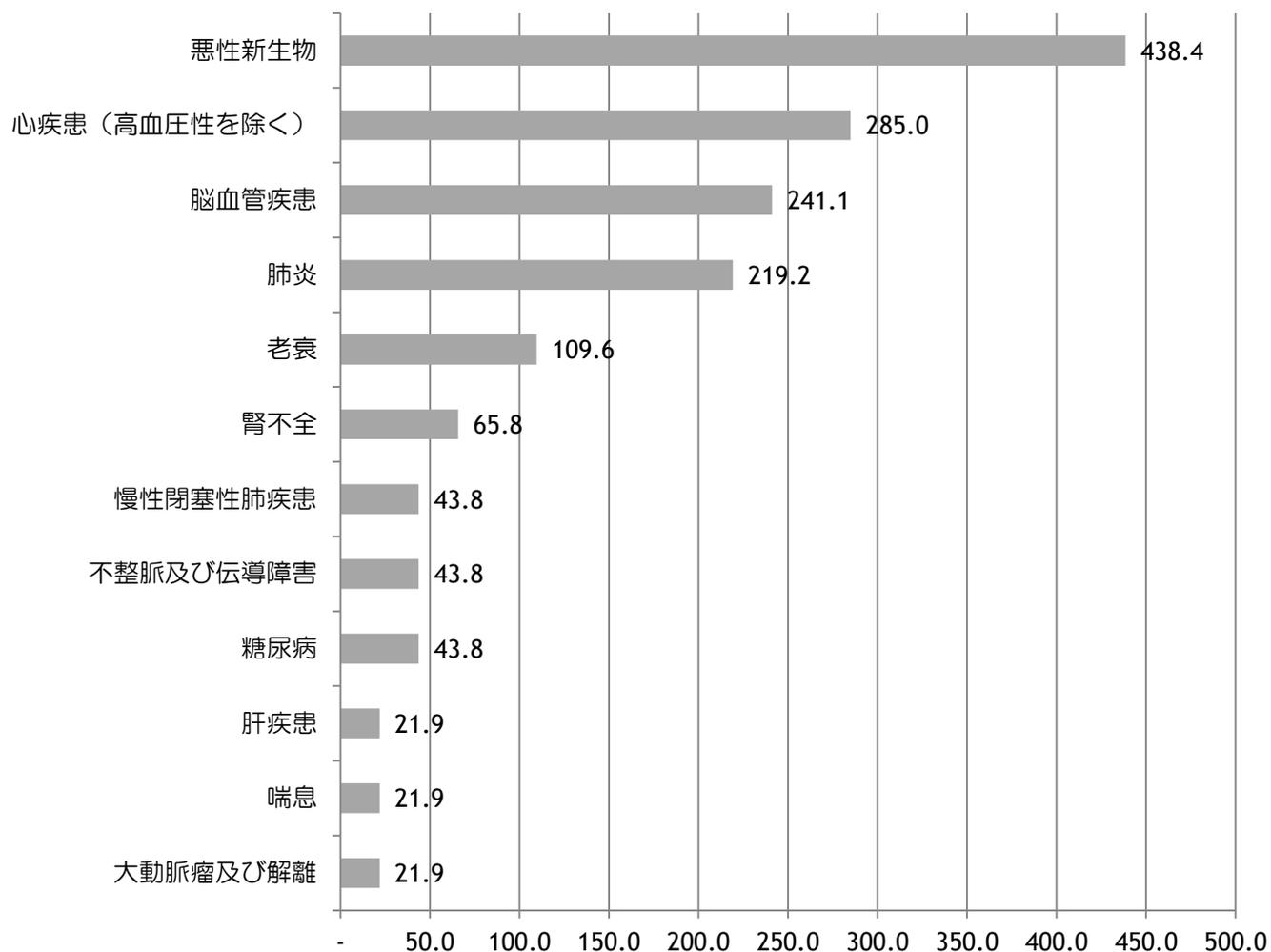
資料：平成26年度青森県保健統計年報

※1 死亡率は通常年齢によって大きな違いがあることから、異なった年齢構成を持つ地域別の死亡率を、そのまま比較することはできない。比較を可能にするためには標準的な年齢構成に合わせて、地域別の年齢階級別の死亡率を算出して比較する必要がある。標準化死亡比は、基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。標準化死亡比は、基準死亡率と対象地域の人口を用いれば簡単に計算できるので地域別の比較によく用いられる。

③死因

死因上位は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順となっている。

図7) 疾病別死亡率



資料：平成 26 年度青森県保健統計年報

(3) これまでの取り組み

横浜町においては、これまで内臓脂肪症候群をターゲットとした特定保健指導に取り組むほか、「健康なのはな21計画」に基づき次の具体的な行動目標に沿って保健活動を実施してきた。

①特定健診・特定保健指導（平成27年度実績）

事業名	特定健診	特定保健指導
事業の目的	被保険者の生活習慣病の早期発見と予防につなげるため、受診率の向上を図る。	特定保健指導者に対し、生活習慣の改善を図り生活習慣病の予防へつなげる。
事業の概要	<p>【実施時期】 4月～2月まで</p> <p>【実施場所】 ふれあいセンター 菜の花クリニック 公立野辺地病院 五戸町健診センター</p> <p>*がん検診と同時実施</p> <p>【自己負担】 なし</p> <p>【案内方法】 ①対象者へ郵送で個人通知 ②保健衛生協力員による毎戸訪問PR ③ホームページへ掲示</p>	<p>【実施時期】 5月～3月まで</p> <p>【自己負担】 なし</p> <p>【案内方法】 ①対象者へ郵送で個人通知 ②保健衛生協力員による毎戸訪問PR ③ホームページへ掲示</p>
対象者	40～74歳の被保険者 1,324人	<p>全体：44人 動機づけ支援 男性：17人 女性：11人 積極的支援 男性：12人 女性：4人</p>
参加者数	受診者数：439人	<p>全体：14人 動機づけ支援終了者 男性：5人 女性：6人 積極的支援 男性：2人 女性：1人</p>
実施状況	<p>27年度目標受診率 48%</p> <p>全体受診率：33.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性：29.8% ・女性：36.9% 	<p>27年度目標実施率 48%</p> <p>全体実施：31.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性：24.1% ・女性：46.7%
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・目標受診率に到達していない ・特に男性の受診率が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標受診率に到達していない ・特に男性の実施率が低い

②各種がん検診（平成 27 年度実績）

事業目的	がんの早期発見、早期治療によりがんによる死亡を減少させる。
事業概要	<p>1) がん検診</p> <p>【実施時期】 4月～2月まで</p> <p>【実施場所】 ふれあいセンター、菜の花クリニック、公立野辺地病院 五戸町健診センター</p> <p>*各場所において、実施時期が定められている</p> <p>*特定健診と同時実施</p> <p>【自己負担】 各検診毎に 200 円</p> <p>【案内方法】 ①対象者へ郵送で個人通知 ②保健衛生協力員による毎戸訪問PR ③ホームページへ掲示</p> <p>2) がん検診要精検者の受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果説明会や個別相談、訪問指導等で直接受診勧奨する ・未受診者へは、手紙による再勧奨、電話による再々勧奨を実施
課題等	<p>目標受診率 各がん検診とも 50%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各がん検診とも目標受診率に到達していない。 ・精密検査受診率は 100%を目標としているが、到達していない。 特に、乳がんが 64%、大腸がん 78.7%に留まっている。

*がん検診の実施状況

がん名	対象者	参加者数	実施状況
胃	40 歳以上住民 1,741 人	受診者：532 人	受診率：30.6% 要精密検査者数：60 人 精検受診者数：49 人 精検受診率：81.7%
大腸		受診者：681 人	受診率 39.1% 要精密検査者数：61 人 精検受診者数：48 人 精検受診率：78.7%
肺		受診者：610 人	受診率：35.0% 要精密検査者数：25 人 精検受診者数：24 人 精検受診率：96.0%
前立腺	50 歳以上男性：634 人	受診者：237 人	受診率：37.4% 要精検者数：12 人 精検受診者数：11 人 精検受診率*91.7%
子宮	20 歳以上女性：1,120 人	受診者：411 人	受診率：36.7% 要精検者数：10 人 精検受診者数：9 人 精検受診率：90.0%
乳	40 歳以上女性：929 人	受診者：212 人	受診率：22.8% 要精検者数：25 人 精検受診者数：16 人 精検受診率：64.0%

*各種がん検診等 精密検査自己負担額補助事業

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費対策の一環として、疾病予防、早期発見、早期治療を推進 ・被保険者の健康保持と増進を図る
事業の概要	国保加入者で各種検診結果が「要精密検査」となった方が精密検査を受けた際の自己負担分のうち、最大 8,000 円を助成する
対象者	国保加入者で各種検診結果が「要精密検査」となった方
参加者数	<p>*対象者数*</p> <p>平成 27 年度：481 人</p>
実施状況	申請者：93 人 助成金額：515,654 円
課題等	積極的に利用してもらうため、広報等で制度利用を呼びかける

③健診結果説明会・健康相談（平成 27 年度実績）

事業名	健診結果説明会	重点地区健康相談
事業の目的	特定健診、がん検診受診者へ個別に結果を説明し、生活習慣を振り返り健康管理につなげる。また、要精検者に対して直接受診勧奨を行い、早期受診、早期治療をねらいとする。	健診受診率の低い地区から優先して健康相談を実施し、健診受診勧奨や健康づくりについて普及啓発する。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果説明会：8～10 月（夜間の時間帯も設定） ・ドック事後指導：10 月 ・他、結果が出次第随時個別対応 	<p>【開催時期】：4 月～6 月</p> <p>【開催場所】：各地区集会所 12 か所</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師、栄養士による個別相談 ・血圧、骨密度、血管年齢測定 ・健診申し込み受付
対象者	健診・ドック受診者	地区住民
参加者数	健診結果説明会：204 人 ドック事後指導：31 人	参加者数：181 人 男性：31 人 女性：150 人 65 歳未満：62 人 65 歳以上：119 人
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要精検、要指導者以外の受診者も来相 ・要精検で未来相の方へは後日個別で対応（訪問、相談） 	・一地区平均 15 人の参加者数
課題等	直接、健診結果をもとに受診勧奨や生活習慣の見直しを図れる機会となり、夜間には壮年期の来相者も多いことから継続していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・働き盛り世代が参加しやすいように夜間に開催した地区もあった。 ・新規の健診申し込みは来相者のうち、数%であった。 ・健康づくりの啓発という意味では、これまで保健事業に参加しなかった方も訪れ、関心を持ってもらえた。

④その他（平成27年度実績）

事業名	健康アップポイントラリー事業	健康づくり宣言大会	重複・多受診世帯訪問指導
事業の目的	健診受診と健康づくり事業の参加を促し、ヘルスリテラシーの向上につなげる。	健康宣言を通し、広く住民へ健康づくりを啓発する機会とする。また、菜の花健康体操の普及を図る。	診療報酬明細書等を活用して、同一疾患で複数の医療機関を重複している被保険者に対して、関係者が連携して適正な受診、服薬管理等の指導を行い、生活習慣の改善や医療費の適正化を図る。
事業の概要	健診受診を原則とし、他、健康づくり事業へ参加した回数に応じてポイントを付与し、特典を与える。 3ポイント：町温泉利用券 6ポイント：町コテージ利用券	健康づくり宣言により、広く住民へ健康づくりをPRし、ヘルスリテラシーの向上を図る。	重複・多受診者に対して健康福祉課保健師による訪問により、適正受診や服薬管理、生活習慣改善等について保健指導を実施。
対象者	健診受診及び健康づくり事業参加者	一般住民	4～6月診療における重複・多受診者
参加者数	健診受診者へカード配布	参加者数：138人	対象者数 4月：11人 5月：11人 6月：14人
実施状況	3ポイント到達者：125人 6ポイント到達者：9人	<ul style="list-style-type: none"> 健康体操の実践 健康教育（脳活） 健康チェック（骨密度、血管年齢等） 	実施者数 4月：10人 5月：9人 6月：10人
課題等	健診受診と健康づくり事業の参加を促すねらいがあったが、数値的に受診者、参加者が顕著に増加したといえなかった。	参加者には健康づくりをPRする機会になったが、今後継続性のある活動が求められる。	訪問時の状況では、多くの疾患を持っているの治療であったり、殆どの方は必要な受診と捉えられていた。

事業名	医療費通知	ジェネリック医薬費差額通知
事業の目的	被保険者に対して受診の状況を通知して、医療費の実態と理解を促すとともに、医療費の抑制を図る	現在利用している医薬品を後発医薬品へ切り替えた場合の差額を通知することで、医療費の抑制を図る
事業の概要	国保連合会に委託して、年6回被保険者に対して受診の状況を通知する。	国保連合会に委託して、年2回被保険者に対して医薬品の利用状況と、後発医薬品に切り替えた場合の金額を通知する。
対象者	対象診療月分「医科、歯科、調剤、柔整、訪問」のレセプト	<ul style="list-style-type: none"> 国保被保険者で、慢性疾患等用剤が長期投与されているもの（医科外来、調剤レセプト） 差額金額は200円以上
参加者数	実施回数：年6回 通知件数：600件程度	実施回数：年2回 （7月、11月診療分） 通知件数：30件程度
実施状況	国保連合会に委託して、ハガキ通知を実施。	国保連合会に委託して、ハガキ通知を実施。
課題等	ここ数年、1人あたりの医療費が千円単位で上昇しているため、今後も継続実施する必要がある。	少しずつ利用率も上昇しており、被保険者にもある程度の効果が見えてきたと思われる。

2. 健康・医療情報の分析及び分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 健診の分析

① 特定健診受診率・特定保健指導実施率

当町の特定健診受診率は平成 27 年度実績 37.8%で、県、国平均よりも多少高いレベルにある。より一層の健診受診者の利便性を図るなど努力をしていく。

特定健診受診率・特定保健指導実施率

	横浜町	県	国
特定健診受診率	37.8%	34.8%	33.5%
特定保健指導実施率	31.8%	33.3%	21.9%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成 27 年度(累計)）」

特定健診・特定保健指導実施結果総括表（平成 27 年度）

④ 横浜町の特定保健指導実施率は、平成 27 年度の特定健診・特定保健指導実施結果総括表のデータを採用。
 県・国の特定保健指導実施率は平成 25 年度 KDB データを採用している。

② 性別・年代別特定健診受診率

男女とも 50～54 歳の受診率が低くなっており、高齢層に比べ著しく低くなっている。

年代別特定健診受診率（男性）

	横浜町	国
40～44 歳	20.9%	17.8%
45～49 歳	32.1%	18.6%
50～54 歳	17.1%	20.8%
55～59 歳	30.3%	23.1%
60～64 歳	27.7%	28.5%
65～69 歳	46.4%	36.0%
70～74 歳	38.5%	39.6%

年代別特定健診受診率（女性）

	横浜町	国
40～44 歳	27.3%	20.8%
45～49 歳	30.6%	21.7%
50～54 歳	24.3%	25.4%
55～59 歳	28.6%	29.7%
60～64 歳	48.2%	36.6%
65～69 歳	50.0%	41.7%
70～74 歳	51.8%	43.5%

資料：KDB「健康・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成 27 年度(累計)）」

特定健診・特定保健指導実施結果総括表（平成 27 年度）

③メタボ該当・予備群、非肥満高血糖

男女ともメタボ該当者率が県、国平均と比べ多少低い。女性のメタボ予備群率は国の1.33倍となっている。

メタボ該当・予備群、非肥満高血糖

	横浜町	県	国
男メタボ該当率	22.2%	25.2%	26.5%
女メタボ該当率	7.7%	9.4%	9.2%
男メタボ予備群率	11.6%	16.2%	17.1%
女メタボ予備群率	7.7%	6.6%	5.8%
非肥満高血糖	11.9%	10.1%	9.3%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成27年度(累計)）」

④健診有所見者状況～肥満に関する項目

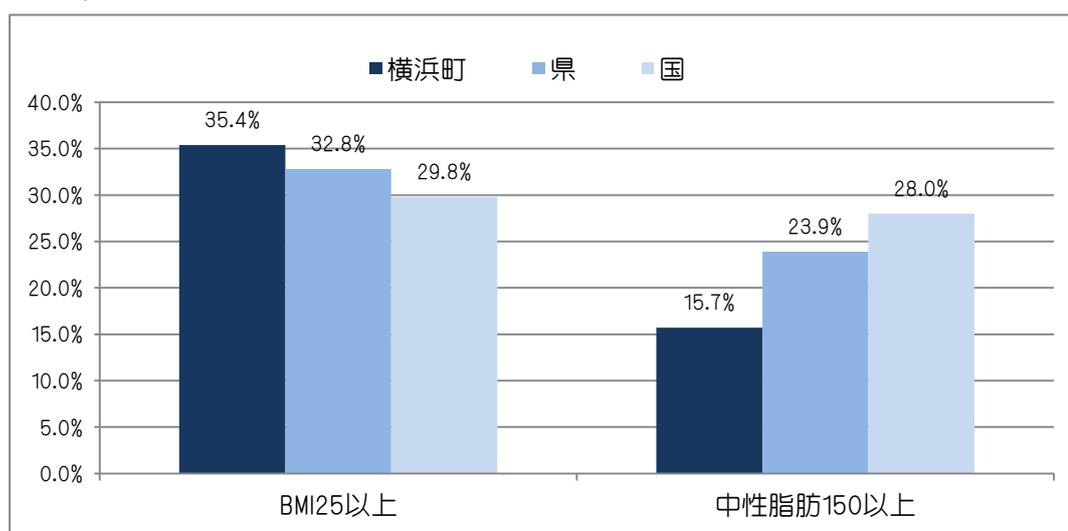
男女とも肥満の割合が県、国と比較すると多くなっている。男性のBMIの数値では国の1.2倍、女性は国の1.8倍となっている。また、中性脂肪は県、国と比較し低くなっている。

健診有所見者状況～肥満に関する項目（男性）

	横浜町	県	国
BMI25以上	35.4%	32.8%	29.8%
中性脂肪150以上	15.7%	23.9%	28.0%

資料：KDB「厚生労働省様式6-2～7（平成27年度）」

図8)

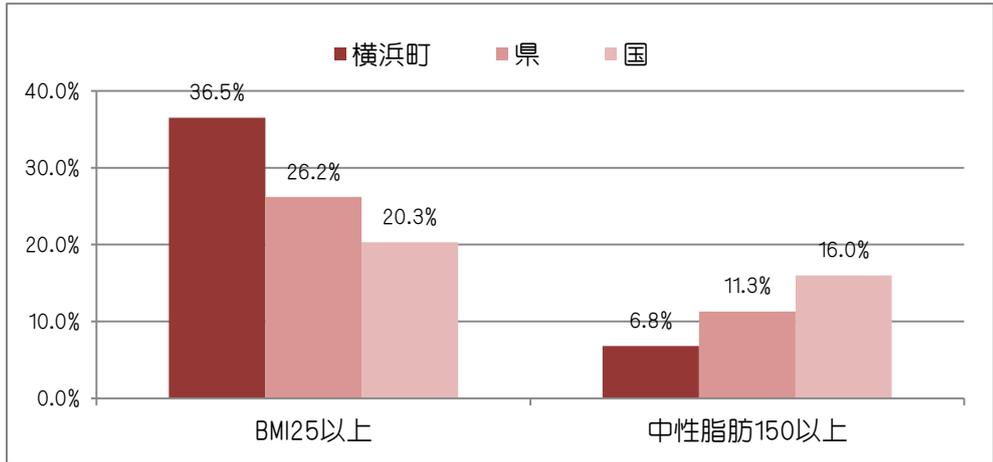


健診有所見者状況～肥満に関する項目（女性）

	横浜町	県	国
BMI25以上	36.5%	26.2%	20.3%
中性脂肪150以上	6.8%	11.3%	16.0%

資料：KDB「厚生労働省様式 6-2～7（平成 27 年度）」

図9)



⑤健診有所見者状況～主要項目

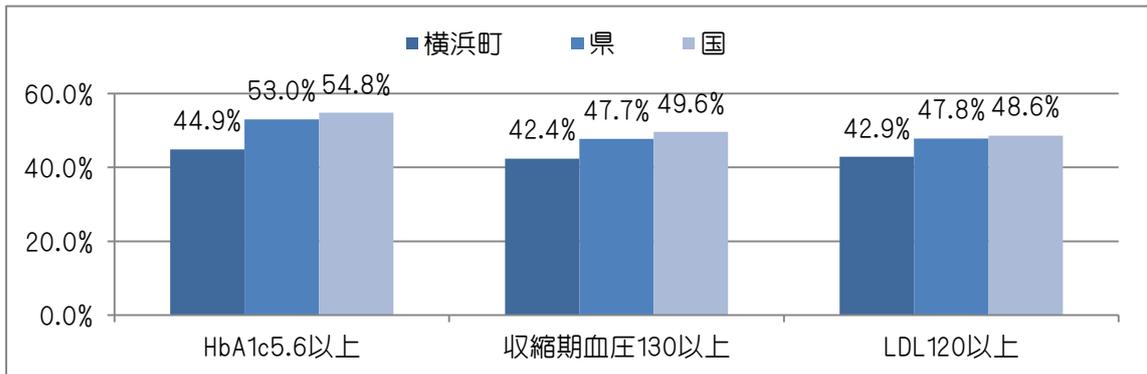
主要健診項目のうち有所見割合の低い項目を男女別にみると、HbA1cの値が男女とも、国・県より低くなっている。男性のHbA1cの数値では国の0.82倍、女性は国の0.77倍となっている。

健診有所見者状況～主要項目（男性）

	横浜町	県	国
HbA1c5.6以上	44.9%	53.0%	54.8%
収縮期血圧130以上	42.4%	47.7%	49.6%
LDL120以上	42.9%	47.8%	48.6%

資料：KDB「厚生労働省様式 6-2～7（平成 27 年度）」

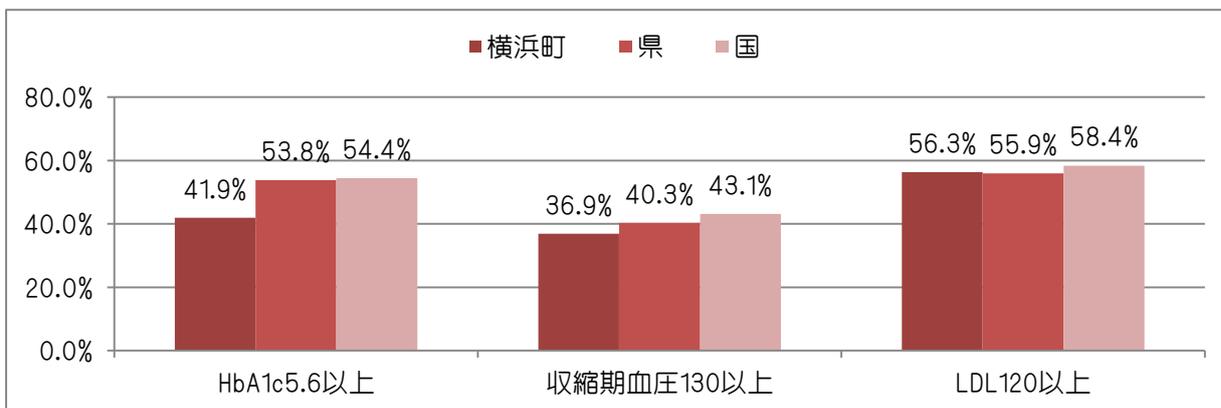
図10)



健診有所見者状況～主要項目（女性）

	横浜町	県	国
HbA1c5.6 以上	41.9%	53.8%	54.4%
収縮期血圧 130 以上	36.9%	40.3%	43.1%
LDL120 以上	56.3%	55.9%	58.4%

図 11)



資料：KDB「厚生労働省様式 6-2～7（平成 27 年度）」

⑥生活習慣（問診票調査）の分析

質問票調査から見えた横浜町男性の生活習慣の問題点は喫煙、運動習慣、喫煙にある。

40 歳～64 歳までの男性の中高年層では、「1 回 30 分以上の運動習慣なし」の方が 74.9% であり、国より 5.9%多い。運動習慣が反映される「歩行速度遅い」は 67.7%であり、国に比べ、16.6%も多い。食事面では、肥満と関係の深い「食べる速度が速い」方は 45.3%で国よりも 10.1%多くなっている。

また、「週 3 回以上就寝前夕食」の習慣がある方は 35.5%で国より 6.7%多い。

飲酒面では毎日飲酒している方は 57.0%であり、国より 11.9%多い。

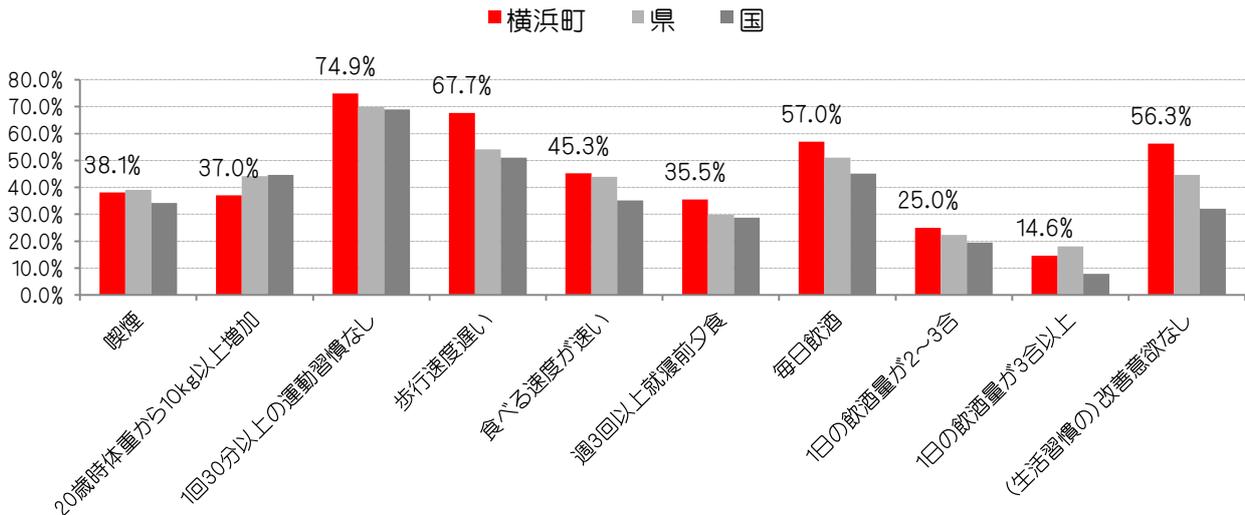
さらに 1 日の飲酒量が 3 合を超える過度の飲酒習慣がある方は 14.6%で、国の 7.8%に比べ、1.87 倍となっている。

質問票調査結果（男性 40～64 歳） *年齢調整割合

	横浜町	県	国
喫煙	38.1%	39.1%	34.2%
20 歳時体重から10kg以上増加	37.0%	44.2%	44.7%
1回 30 分以上の運動習慣なし	74.9%	69.9%	69.0%
歩行速度遅い	67.7%	54.2%	51.1%
食べる速度が速い	45.3%	43.9%	35.2%
週 3 回以上就寝前夕食	35.5%	29.8%	28.8%
毎日飲酒	57.0%	51.0%	45.1%
1日の飲酒量が2～3 合	25.0%	22.3%	19.5%
1日の飲酒量が 3 合以上	14.6%	18.1%	7.8%
(生活習慣の)改善意欲なし	56.3%	44.6%	32.1%

資料：KDB 質問票調査の状況【補足】H26 年度累計

図 12)



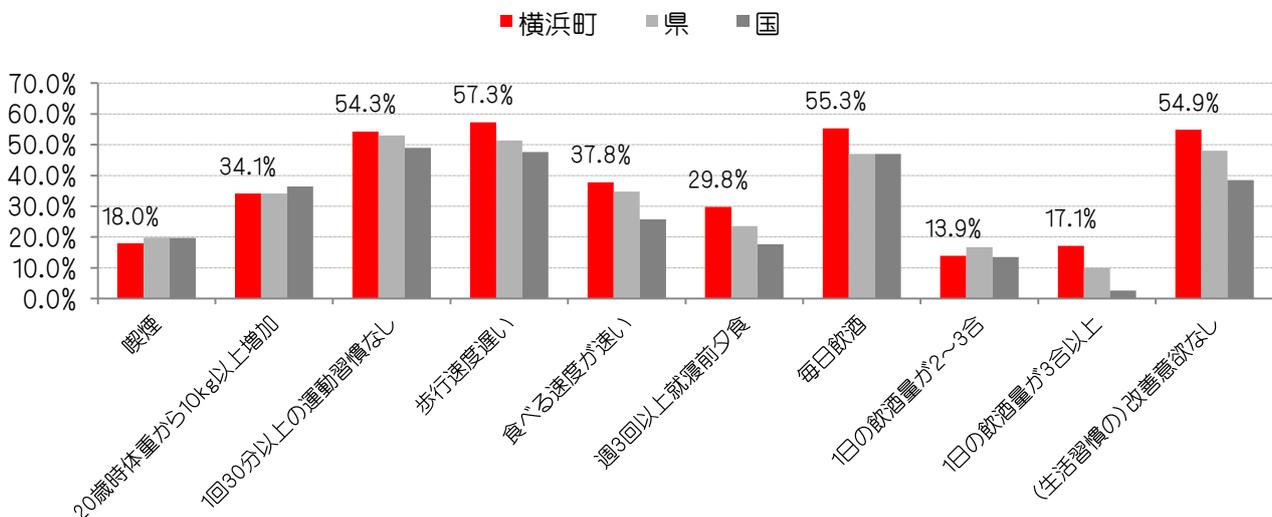
65歳～74歳までの男性の前期高齢者では、中高年層同様に運動習慣、食生活習慣、飲酒面で課題がある。特に1日3合以上の過度の飲酒習慣がある者は17.1%であり、国の2.6%に比べ、6.5倍となっている。

質問票調査結果（男性65～74歳） *年齢調整割合

	横浜町	県	国
喫煙	18.0%	19.8%	19.7%
20歳時体重から10kg以上増加	34.1%	34.2%	36.4%
1回30分以上の運動習慣なし	54.3%	53.0%	49.0%
歩行速度遅い	57.3%	51.4%	47.6%
食べる速度が速い	37.8%	34.8%	25.8%
週3回以上就寝前夕食	29.8%	23.6%	17.7%
毎日飲酒	55.3%	47.0%	47.0%
1日の飲酒量が2~3合	13.9%	16.7%	13.5%
1日の飲酒量が3合以上	17.1%	10.0%	2.6%
(生活習慣の)改善意欲なし	54.9%	48.0%	38.5%

資料：KDB 質問票調査の状況【補足】H26年度累計

図 13)



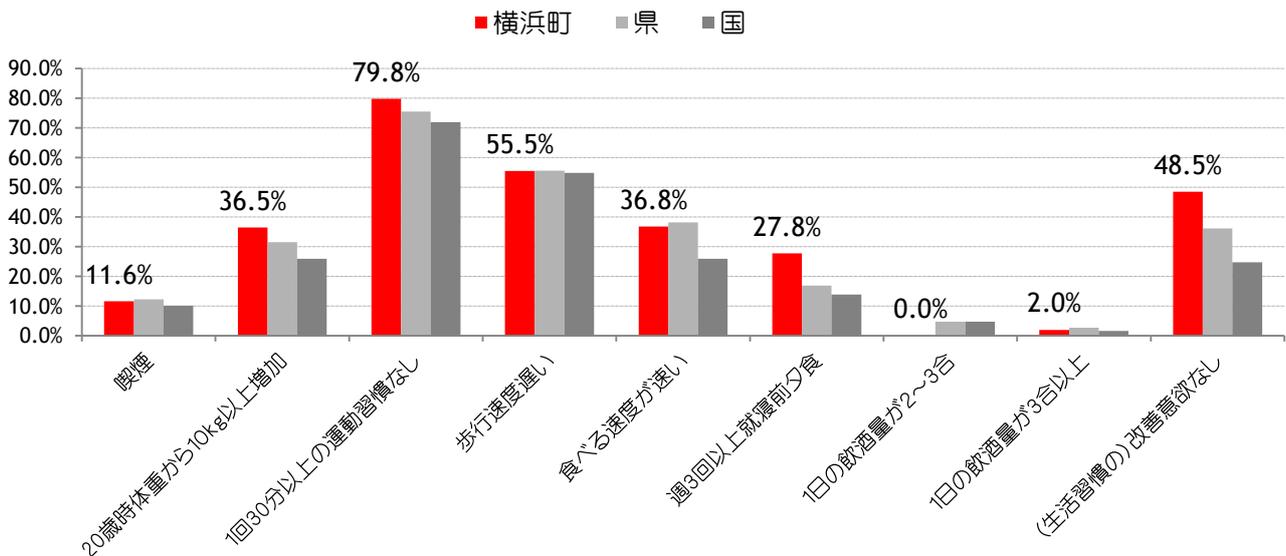
女性の生活習慣上の課題は、中高年層、前期高齢層とも運動習慣、食生活習慣、肥満である。特に肥満と関連性の高い食習慣である「食べる速度」、「就寝前夕食」で問題のある方は国に比べると目立って多い。

質問票調査結果（女性 40～64 歳） *年齢調整割合

	横浜町	県	国
喫煙	11.6%	12.3%	10.1%
20歳時体重から10kg以上増加	36.5%	31.5%	25.9%
1回 30 分以上の運動習慣なし	79.8%	75.5%	72.0%
歩行速度遅い	55.5%	55.6%	54.9%
食べる速度が速い	36.8%	38.2%	25.9%
週 3 回以上就寝前夕食	27.8%	16.9%	13.9%
1日の飲酒量が2～3 合	0.0%	4.7%	4.7%
1日の飲酒量が 3 合以上	2.0%	2.7%	1.6%
(生活習慣の)改善意欲なし	48.5%	36.1%	24.8%

資料：KDB 質問票調査の状況【補足】H26 年度累計

図 14)

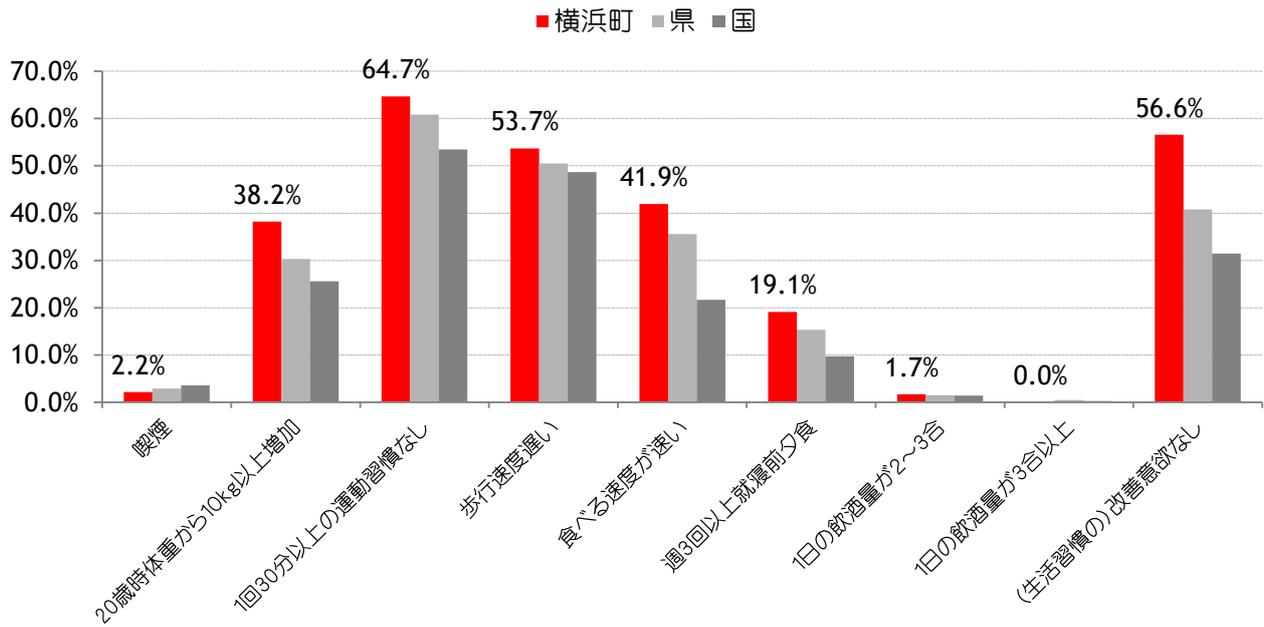


質問票調査結果（女性 65～74 歳） *年齢調整割合

	横浜町	県	国
喫煙	2.2%	2.9%	3.6%
20歳時体重から10kg以上増加	38.2%	30.3%	25.6%
1回 30 分以上の運動習慣なし	64.7%	60.8%	53.5%
歩行速度遅い	53.7%	50.5%	48.7%
食べる速度が速い	41.9%	35.6%	21.7%
週 3 回以上就寝前夕食	19.1%	15.3%	9.7%
1日の飲酒量が2～3 合	1.7%	1.5%	1.4%
1日の飲酒量が 3 合以上	0.0%	0.5%	0.3%
(生活習慣の)改善意欲なし	56.6%	40.8%	31.5%

資料：KDB 質問票調査の状況【補足】H26 年度累計

図 15)



⑦未受診者の状況

健診受診者と未受診者の生活習慣病等 1 人当たり医療費の差は、当町においても明瞭である。未受診者の医療費は、健診受診者の 1.65 倍となっている。

医療費分析健診有無別（入院＋外来）

	横浜町	県	国
健診受診者	35,740 円	38,000 円	37,760 円
未受診者	58,850 円	54,550 円	57,540 円

資料：KDB「医療費分析（健診有無別）（平成 27 年度(累計)」

(2) 医療費の状況

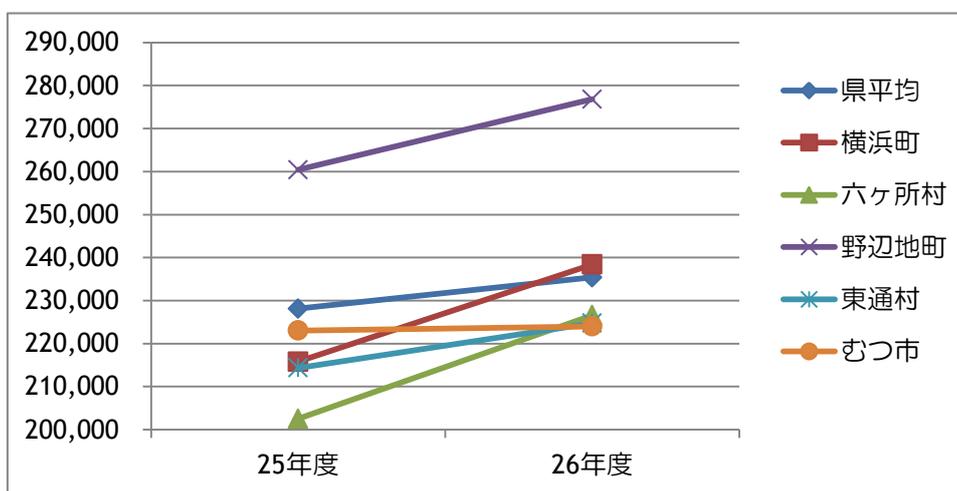
① 1人当たり医療費

横浜町の1人当たり医療費は、県や周辺自治体よりも高くなっており、26年度は県内で16位となっている。

	25年度	26年度
県平均	228,140	235,392
横浜町	215,815	238,391
六ヶ所村	202,515	226,603
野辺地町	260,416	276,823
東通村	214,353	224,726
むつ市	223,032	224,015

資料：平成27年度版国民健康保険図鑑第50号

図 16)



② 千人当たり患者数と費用

千人当りの入院患者数が僅かではあるが、県、国より多い。

千人当たり外来患者数・入院患者数と費用の割合

	横浜町	県	国
外来患者数	608.0人	680.6人	667.5人
外来費用の割合	61.9%	62.1%	60.8%
入院患者数	18.4人	17.8人	18.2人
入院費用の割合	38.1%	37.9%	39.2%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成27年度(累計)」

千人当たり6ヶ月以上入院患者数

	横浜町	県	国
6ヶ月以上入院患者数	173.789人	202.832人	231.905人

資料：KDB「医療費分析（1）細小分類（平成27年度(累計)」

③疾病別費用額

1件当たりの入院費用額の県内比較では、糖尿病・悪性新生物が高く外来費用額の県内比較では、脂質異常症が高い順位となっている。

疾病別医療費(外来)の総額では、腎不全が最も高く、高血圧、糖尿病で上位を占めている。

疾病別医療費(入院)の総額では、統合失調症が最も高く、がん、虚血性心疾患、脳卒中が上位を占めている。

1件当たり入院・入院外費用

疾病名	入院費用(円/件)	入院外費用(円/件)
悪性新生物	769,949	54,464
心疾患	703,016	50,668
糖尿病	678,232	35,008
脳血管疾患	674,310	36,225
脂質異常症	598,578	31,737
高血圧症	588,988	33,579
腎不全	580,081	215,876
精神	373,322	33,220
歯肉炎・歯周病	14,537	16,129

資料：KDB「健康・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成27年度(累計)）」

図 17)

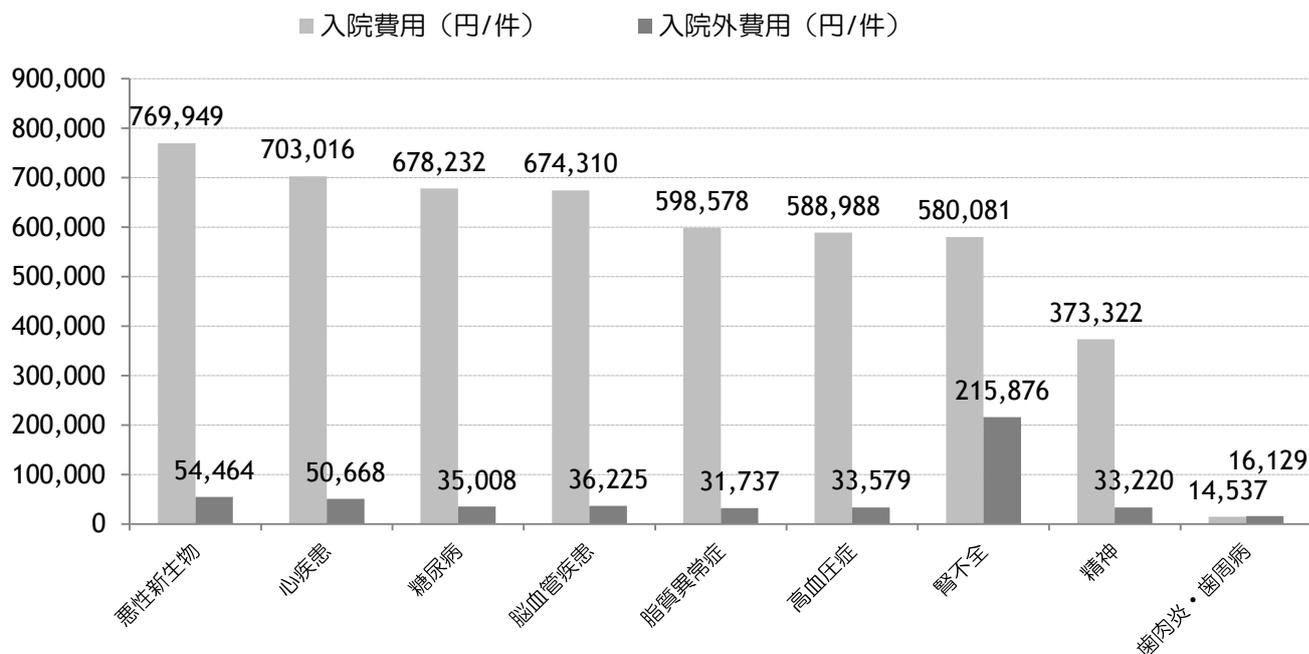


図 18)

疾病別医療費総額順位 (外来)



2015年レセプトデータ

図 19)

疾病別医療費総額順位（入院）



2015年レセプトデータ

④医療費総額に対する主要疾病の割合

国、県と比較して慢性腎不全・糖尿病・筋・骨格の割合が多い。

医療費の割合

	横浜町	県	国
がん	22.2%	25.6%	24.1%
筋・骨格	17.1%	15.1%	15.2%
精神	12.4%	15.1%	16.8%
慢性腎不全	12.4%	7.7%	9.6%
糖尿病	12.2%	11.1%	9.9%

資料：KDB「健康・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成27年度(累計)）」

⑤有病状況

高血圧症、動脈硬化症、筋・骨格の患者数は、国と比較すると幾分高い。

高血圧症は国の1.12倍、動脈硬化症は1.02倍となっている。

千人当たり生活習慣病患者数

	横浜町	県	国
高血圧症	443.965	447.729	395.537
筋・骨格	382.531	380.977	377.271
糖尿病	192.723	213.012	208.269
狭心症	58.627	69.588	69.039
動脈硬化症	40.272	33.908	39.310

資料：KDB「医療費分析（1）細小分類（平成27年度(累計)）」

⑥高額になる疾患

千人当たり30万円以上のレセプト患者数を県と比較すると、高血圧症、がん、人工透析、高尿酸血症、狭心症、心筋梗塞で国より多くなっている。

千人当たり30万円以上レセプト患者数

	横浜町	県	国
高血圧症	15.331	13.415	13.623
がん	9.717	9.706	9.278
糖尿病	8.853	8.925	9.295
人工透析	7.990	4.658	5.732
高尿酸血症	6.370	3.396	3.295
脂質異常症	4.967	6.349	7.150
狭心症	4.427	3.034	4.163
脳梗塞	2.267	2.762	3.178
心筋梗塞	0.432	0.274	0.350
脳出血	0.324	0.884	0.967
脂肪肝	0.108	0.232	0.431
動脈硬化症	0.108	2.065	2.251

資料：KDB「医療費分析（1）細小分類（平成27年度(累計)）」

(3) 介護の状況

①要介護認定率等状況

横浜町の介護保険の認定率は、国、県並みであるが、1件あたり介護給付費は国の1.37倍となっている。

また、要介護認定を受けた者の医療費は、県平均に比べ、多少高くなっている。

要介護者認定率等

	横浜町	県	国
介護認定率	21.5%	21.5%	20.7%
介護給付費	80,347円	64,362円	58,761円
要介護認定者医療費	7,352円	6,932円	8,011円

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成27年度(累計)）」

②介護（レセプト）の分析

横浜町の要介護認定者の有病率は、脳疾患で多少高くなっている。

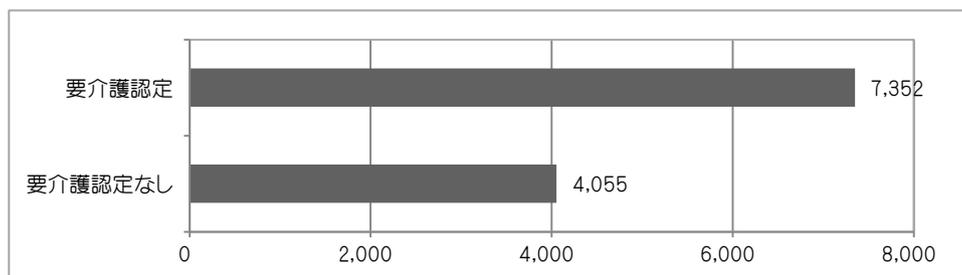
また、介護を受けている人の医療費は、受けていない人の1.8倍である。

要介護認定者の有病率

	横浜町	県	国
糖尿病	13.6%	21.0%	21.4%
高血圧症	50.6%	51.8%	49.7%
脂質異常症	18.8%	25.3%	27.3%
心臓病	55.7%	57.7%	56.7%
脳疾患	27.1%	26.9%	25.4%
筋・骨格	45.9%	46.1%	48.9%

資料：KDB「地域の全体像の把握（平成27年度(累計)）」

図20) 介護を受けている人と受けていない人の医療費



(4) 横浜町の健康課題

健診、医療費、介護給付の分析により、当町の健康課題は次のとおりとなる。

①特定健診・検診・保健指導から見えた課題	②データ分析から見えた課題	③これまでの活動から見えた課題
<ul style="list-style-type: none"> • 男性50歳代前半の特定健診受診率が低い。 →早期発見・早期からの生活習慣改善が困難 • 健診受診者の固定化 • 特定保健指導の利用率の低下 • 男女とも肥満者（BMI25以上）が多く、30%を超えている • 運動習慣（1回30分以上）のない者が多い • 喫煙・飲酒率が全国・県平均より高い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 慢性腎不全、糖尿病の医療費の割合が高い（国の1.29倍） • 悪性新生物の1件当たりの入院費が多い（県内2位） • 脂質異常症の1件当たりの外来医療費が比較的多い（県内4位） • 腎不全にかかる1件当たりの外来医療費が多い（県内2位） • 1件当たりの介護給付費が際立って多い（国の1.37倍） 	<ul style="list-style-type: none"> • 甘い物を多く摂取する習慣 →缶コーヒー、清涼飲料水の多量摂取、こびりの習慣 • 食習慣の偏り→朝食欠食が多い、野菜摂取量が少ない • 子どもの齲歯保有率が高い • 運動習慣の定着が少ない • 大人の喫煙により、幼児のたばこの誤飲につながっている等、子どもたちがたばこの害を受けている。



横浜町の健康課題

- ①悪性新生物による死亡が多く、かつ1件当たりの入院費が多い。
- ②糖尿病などの重症化により慢性腎不全が多い
- ③食生活習慣の偏りや運動不足による肥満者が多い
- ④喫煙や過度の飲酒が目立つ
- ⑤男性若年層の健診受診率が低い

3. 目的・目標の設定

(1) 本町の目的

本町は悪性新生物、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症など死亡率が高く高額な医療費がかかる疾患予防に努め、健康寿命を延伸することを目的とする。

(2) 成果目標

項目	現状	平成 29 年度までの目標	取組計画
1) 悪性新生物対策	各がん検診の受診率 現状 30%台	各がん検診で平均 93 人増加 目標値：40.0%	①通知による個別勧奨 ②各種事業の場の検診受診 PR
2) ハイリスク者対策 (糖尿病性腎症予防)	HbA1c 値 5.6 以上の割合 現状：202 人 (43.7%)	61 人減少で 目標改善率：30.0%	町保健師による個別指導(家庭訪問・電話) 対象者：健診で要精検と判定された者
3) 肥満対策	BMI 25 以上の人の割合 男性：78 人(35.4%) 女性：94 人(38.5%)	男性： 8 人減少で 70 人(31.8%) 女性： 11 人減少で 83 人(34.0%)	①運動の普及啓発(ウォーキング等)実施 対象：内蔵脂肪肥満者 ②菜の花健康体操の普及啓発 対象：町民全体 ③食生活改善のための健康教育 ④情報提供(リーフレット送付)
4) 喫煙・飲酒対策	喫煙率の状況 喫煙率：17.1% (H27) 毎日飲酒者の割合数の状況 毎日飲酒率：30.2% (H27)	喫煙率の減少 喫煙率：15.1% 毎日飲酒者の割合数の減少 毎日飲酒率：25.2%	①情報提供(リーフレット送付) ②専門家による講話 ③保健師による個別指導
5) 男性若年層対策	40~59 歳男性の受診率	40~59 歳男性の 受診率の増加 目標値：25.0%	①通知による個別勧奨~若年者の特性に合わせたハガキ ②電話勧奨~対象者の意向に配慮した勧奨 対象：40~59 歳の男性 ③節目年齢の方へ特化した受診勧奨~男女とも、40歳から5歳刻みの節目年齢の方へ各種健診無料クーポンを交付する

4. その他の保健事業

(1) がん

横浜町では3大死因のうちがんの割合が高く(18.2%)、がんの予防については「健康なのはな21計画」でも重要視されている。がん予防に関する知識を深め、定期的ながん検診を受けられるように体制を強化する。特に40歳～50歳代の働き盛りの男性のがん検診受診率アップをめざす。

また、平成27年度から「横浜町がん検診等精密検査料自己負担額補助」を行っており、国保被保険者が検診等で要精密検査と判定され、精密検査を受けた際の自己負担を軽減するとともに、早期予防・早期治療を推進して町民の健康増進を図る。

(2) こころの健康

横浜町の死因のうち自殺は3.0%であり、うつ病との関係が深い。こころの健康は、生活習慣病の発症にも大きく影響している。「健康なのはな21計画」でも自殺対策は「3大健康運動」の1つとして取り上げている。

(3) 子どもの生活習慣病

予防を目標とする疾患である虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病腎症は、遺伝的な要因等もあるが、共通する生活習慣がその背景にあり、共通してみられる生活習慣は、食や生活リズム、運動習慣などである。

子どもの頃からの好ましい生活習慣の形成が、将来の生活習慣病予防につながるため、生活習慣病予防を意識した母子保健事業を進める。

「健康なのはな21計画」では、学校や地域との連携を図りながら食育やスポーツ活動に注力することにしている。

(4) 重複受診者への適切な受診指導

健診・医療情報を活用したその他の取り組みとしては、診療報酬明細書等情報を活用して、同一疾患で複数の医療機関を重複して受診している被保険者に対し、医療機関、保険者等の関係者が連携して、適切な受診の指導を行う。

(5) COPD

WHO(世界保健機関)はCOPDを「予防でき、治療できる病気」と位置付け、啓発運動を進めることを提言している。日本では平成24年(2012年)、COPDは「健康日本21(第2次)」の中で、今後、取り組むべき深刻な病気とされ新たに加えられた。COPDで亡くなる人は年々増加しており平成24年には死亡原因の9位となっている。喫煙は肺がんだけでなくメタボリックシンドロームのリスクを高めることがわかっており、虚血性心疾患、脳梗塞の発症リスクは、メタボリックシンドロームでない非喫煙者と比べ、それぞれ3.0倍、2.5倍高くなる。

当町においては、県、国に比べ、喫煙率が高いので喫煙者に対する個別的保健指導や受動喫煙に関する啓蒙講演会等を行う。

5. 事業実施計画(データヘルス計画)の評価方法の設定

評価については、国保データベース（KDB）システムの情報を活用し毎年行い、経年変化を評価します。

項目	評価方法
肥満対策	●BMI25 以上該当者の割合の変化
男性若年層の健診受診率アップ	●男性若年者(40～59 歳)健診受診率 ●全体の特定健診受診率
ハイリスク者(糖尿病性腎症予防)	●対象者の医療費の変化 ●対象者のリスクポイントの変化 ●対象者のHbA1cの数値改善度
喫煙・飲酒対策	●「質問票調査」結果数値の変化

6. 実施計画(データヘルス計画)の見直し

計画の見直しは、最終年度となる平成 29 年度に、計画に掲げた目的・目標の達成状況の評価を行う。

国保データベース（KDB）システムにより、受診率・受療率、医療の動向等を定期的に把握する。

また、特定健診の国への実績報告のデータを用いて、経年比較を行うとともに、個々の健診結果の改善度を評価する。特に直ちに取り組むべき重症化予防事業の実施状況は毎年とりまとめ、国保連合会に設置する保健事業支援・評価委員会の指導・助言を受けるものとする。

7. 計画の公表・周知

策定した計画は、町のホームページに掲載するなどして広く周知する。

8. 個人情報の保護

横浜町における個人情報の取り扱いは、横浜町個人情報保護条例によるものとする。

9. その他計画策定に当たっての留意事項

データ分析に基づく保険者の特性を踏まえた計画を策定するため、国保連合会が行うデータヘルスに関する研修に事業運営にかかわる担当者(国保、衛生、介護部門等)が積極的に参加するとともに、事業推進に向けて協議する場を設ける。

用語集

BMI BMI(ボディー・マス・インデックス)は、体重と身長の関係から人の肥満度を示す体格指数である。日本肥満学会では、統計的にもっとも病気にかかりにくいBMI 指数 22 を標準体重として、25 以上の場合を肥満、18.5 未満を低体重としている。BMI の計算式は次のとおりである。 $BMI = \text{体重 kg} \div (\text{身長 m})^2$

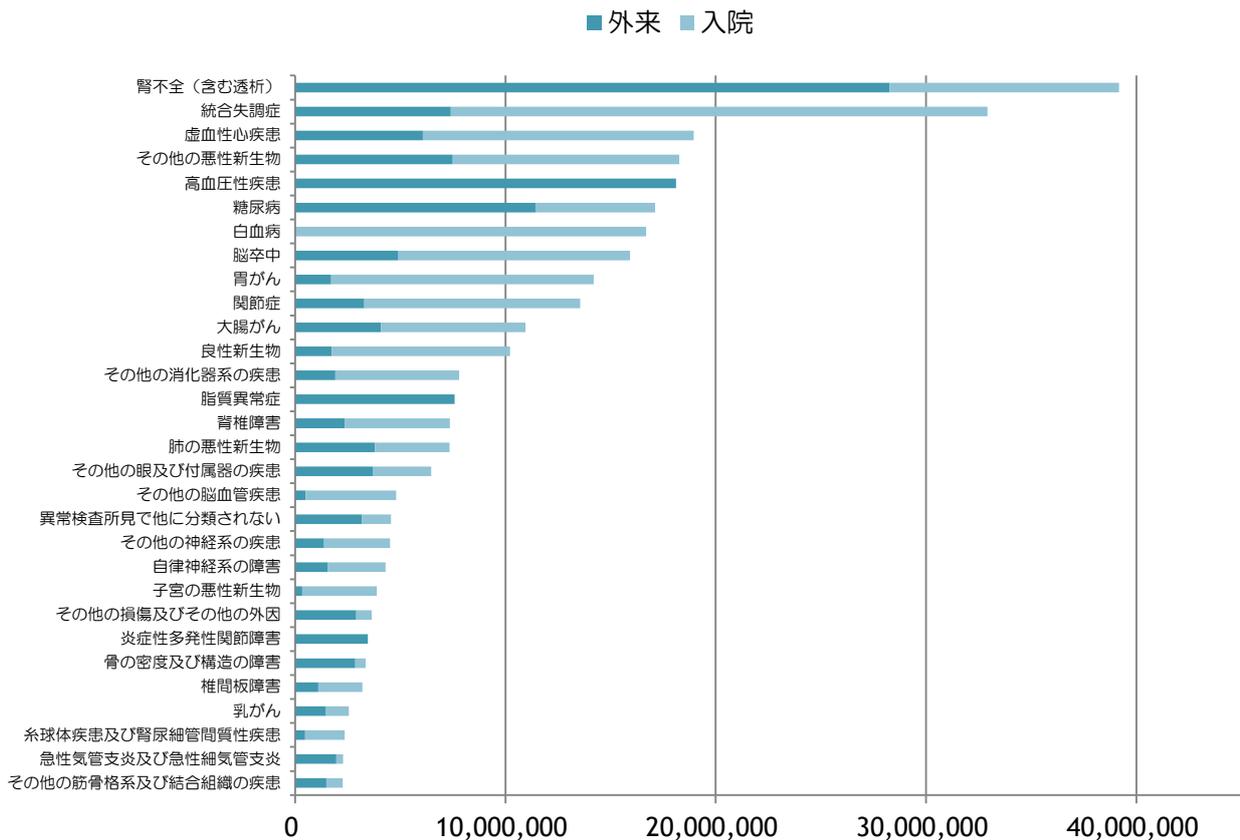
中性脂肪 体内にある中性脂質、リン脂質、糖脂質、ステロイドの 4 種類の脂質の一種。中性脂肪は、砂糖などの糖質（炭水化物）、動物性脂肪を主な原料として肝臓でつくられ、食事でこれらを多く摂りすぎると、皮下脂肪の主成分として蓄積される。中性脂肪が余分になり血液中に増加してくると、動脈硬化を進める一因になる。そのため、中性脂肪の測定は、動脈硬化性疾患（狭心症、心筋梗塞、脳卒中など）を予防するために重要である。

HbA1C 高血糖状態が長期間続くと、血管内の余分なブドウ糖は体内の蛋白と結合する。この際、赤血球の蛋白であるヘモグロビン(Hb)とブドウ糖が結合したものがグリコヘモグロビンで、1～2ヶ月前の血糖の状態を推定できる。糖尿病の診断基準として有効な検査である。

LDL-C 肝臓でつくられたコレステロールを各臓器に運ぶ働きをしている低比重リポたんぱくのこと。細胞内に取り込まれなかった余剰なコレステロールを血管内に放置し、動脈硬化を引き起こす原因となる。

資料編

【1】疾病別医療費比較

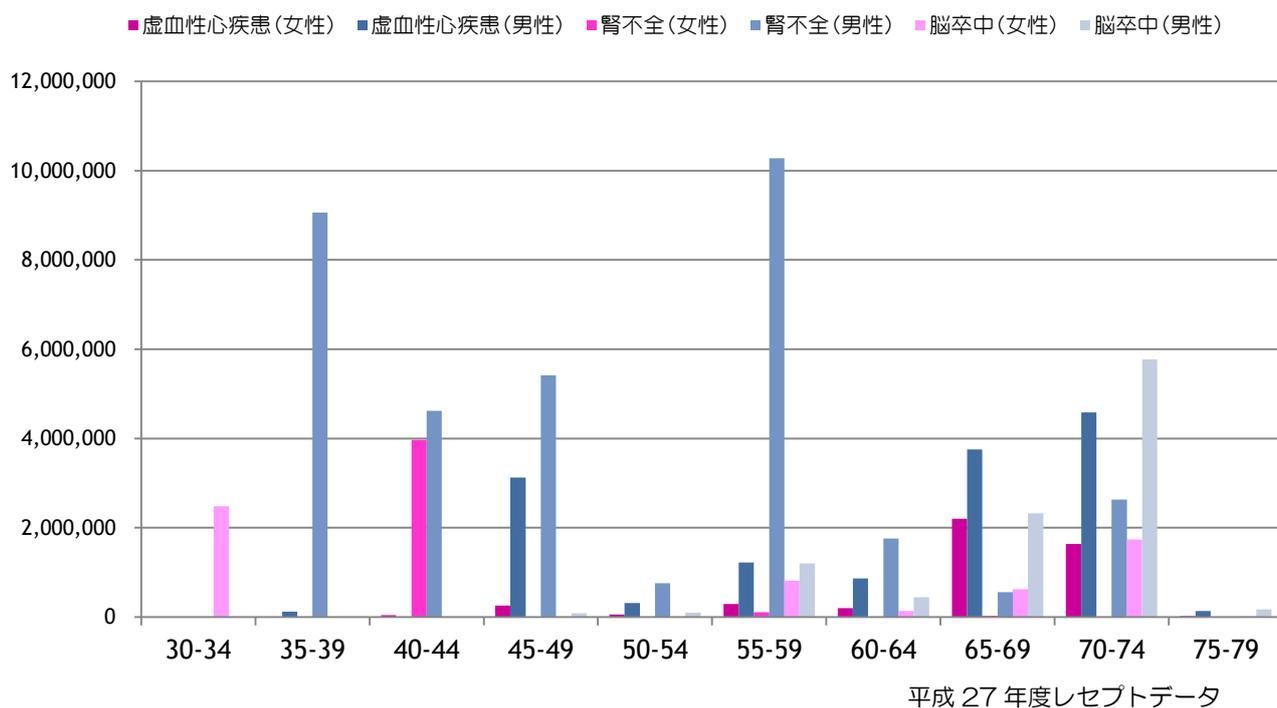


平成 27 年度レセプトデータ

単位：円

順	疾病名	外来	入院	総計	順	疾病名	外来	入院	総計
1	腎不全(含む透析)	28,273,240	10,907,380	39,180,620	16	肺の悪性新生物	3,790,210	3,553,640	7,343,850
2	統合失調症	7,406,970	25,520,340	32,927,310	17	その他の眼及び付属器の疾患	3,686,600	2,790,310	6,476,910
3	虚血性心疾患	6,081,010	12,878,540	18,959,550	18	その他の脳血管疾患	511,900	4,295,590	4,807,490
4	その他の悪性新生物	7,505,320	10,760,790	18,266,110	19	異常検査所見で他に分類されない	3,184,010	1,374,260	4,558,270
5	高血圧性疾患	18,118,180	0	18,118,180	20	その他の神経系の疾患	1,378,400	3,136,300	4,514,700
6	糖尿病	11,433,450	5,687,350	17,120,800	21	自律神経系の障害	1,568,200	2,726,410	4,294,610
7	白血病	42,860	16,649,660	16,692,520	22	子宮の悪性新生物	344,370	3,536,950	3,881,320
8	脳卒中	4,908,770	11,024,710	15,933,480	23	その他の損傷及びその他の外因	2,906,020	733,540	3,639,560
9	胃がん	1,719,650	12,474,180	14,193,830	24	炎症性多発性関節障害	3,464,150	0	3,464,150
10	関節症	3,292,030	10,257,120	13,549,150	25	骨の密度及び構造の障害	2,863,670	482,790	3,346,460
11	大腸がん	4,082,240	6,868,470	10,950,710	26	椎間板障害	1,111,030	2,088,130	3,199,160
12	良性新生物	1,744,520	8,475,320	10,219,840	27	乳がん	1,471,600	1,084,840	2,556,440
13	その他の消化器系の疾患	1,920,700	5,876,890	7,797,590	28	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	472,690	1,891,510	2,364,200
14	脂質異常症	7,553,150	46,570	7,599,720	29	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,967,110	309,120	2,276,230
15	脊椎障害	2,373,750	4,979,680	7,353,430	30	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,492,840	776,030	2,268,870

【2】脳・心・腎関連疾患の性別・年代別医療費推移

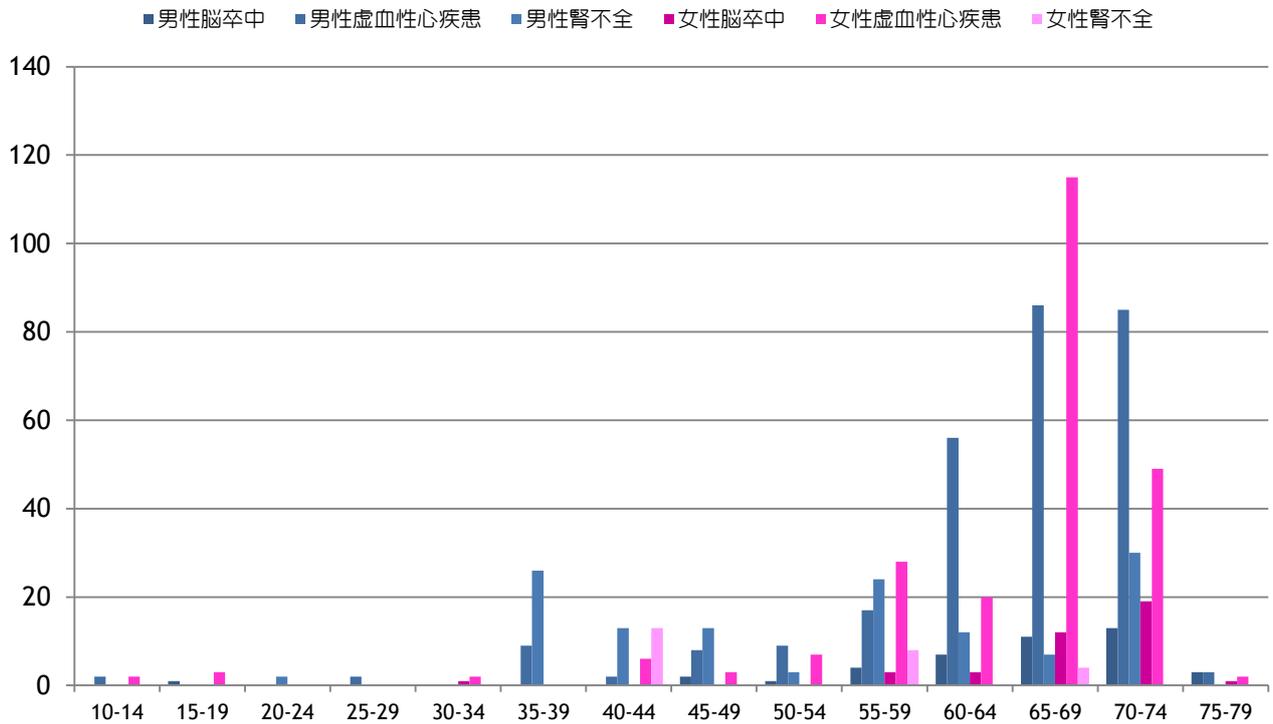


単位：円

年代	虚血性心疾患 (女性)	虚血性心疾患 (男性)	腎不全 (女性)	腎不全 (男性)	脳卒中 (女性)	脳卒中 (男性)
30-34	6,910				2,481,660	
35-39		121,760		9,061,460		
40-44	40,900	7,520	3,966,790	4,615,950		
45-49	255,510	3,125,220		5,411,240		86,050
50-54	59,640	317,900		755,110		101,880
55-59	289,790	1,220,140	108,390	10,276,160	818,680	1,203,410
60-64	198,530	865,430		1,760,820	139,070	440,270
65-69	2,201,170	3,756,430	28,230	555,850	619,820	2,321,880
70-74	1,639,320	4,584,530		2,629,970	1,739,660	5,774,100
75-79	22,840	136,440			12,260	172,020

【3】脳・心・腎関連疾患の年代別・性別患者数

男女とも 50 歳代の後半より急激に増えている。

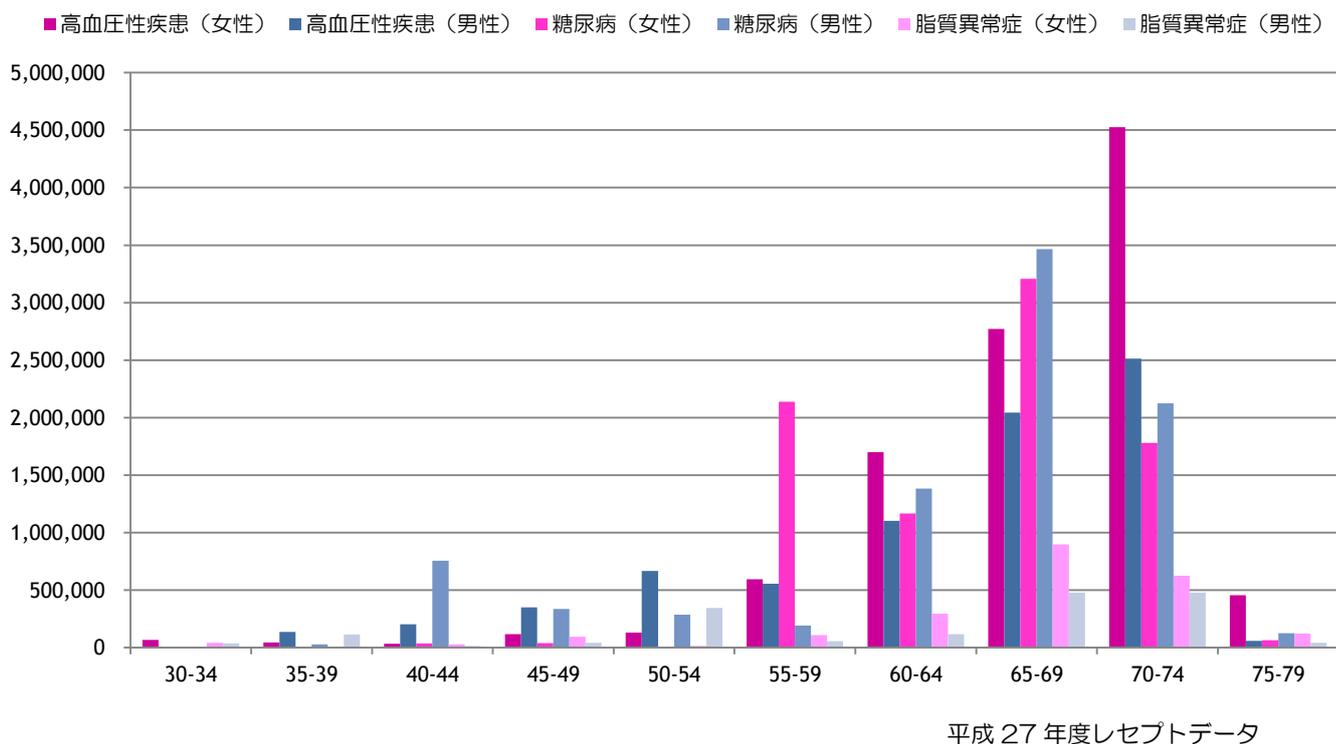


平成 27 年度レセプトデータ

単位：人

年代	脳卒中 (男性)	虚血性心疾患 (男性)	腎不全 (男性)	脳卒中 (女性)	虚血性心疾患 (女性)	腎不全 (女性)
10-14		2			2	
15-19	1				3	
20-24			2			
25-29		2				
30-34				1	2	
35-39		9	26			
40-44		2	13		6	13
45-49	2	8	13		3	
50-54	1	9	3		7	
55-59	4	17	24	3	28	8
60-64	7	56	12	3	20	
65-69	11	86	7	12	115	4
70-74	13	85	30	19	49	
75-79	3	3		1	2	

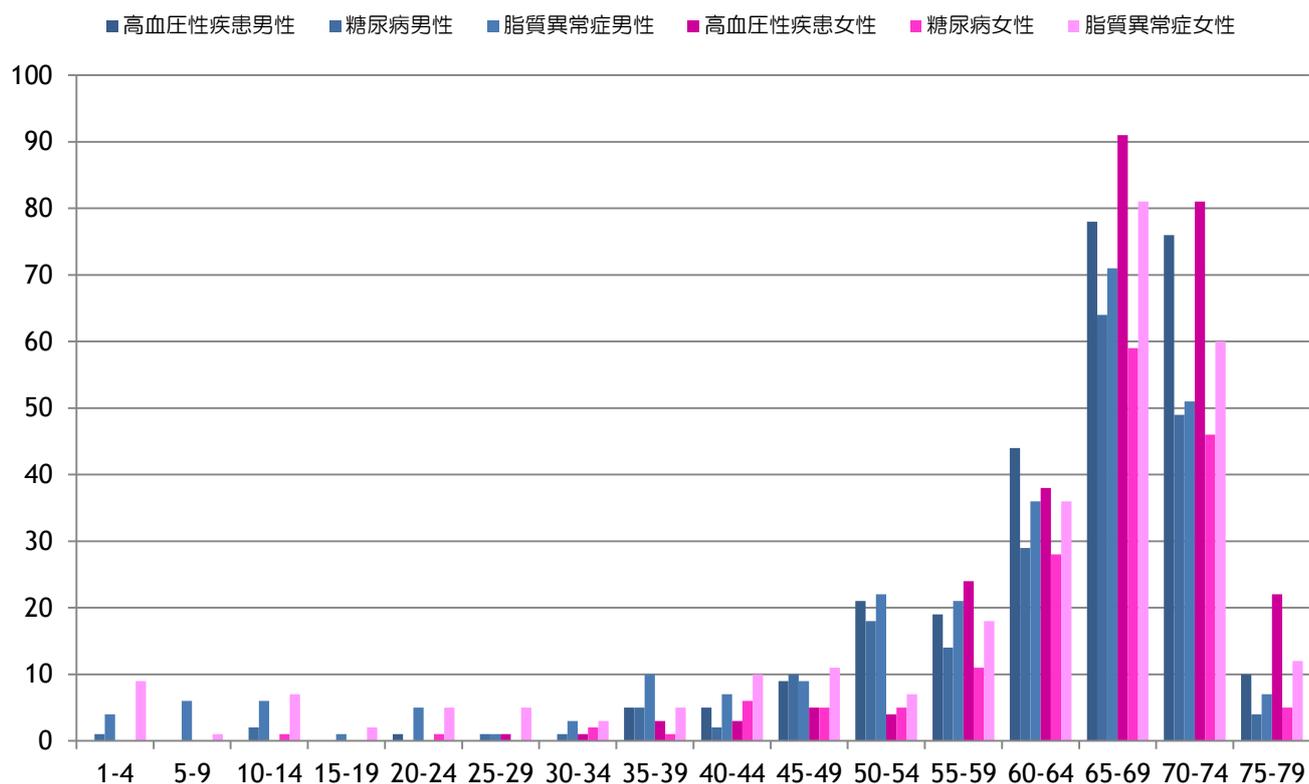
【4】3大生活習慣病の性別・年代別医療費推移



単位：円

年代	高血圧性疾患 （女性）	高血圧性疾患 （男性）	糖尿病 （女性）	糖尿病 （男性）	脂質異常症 （女性）	脂質異常症 （男性）
30-34	67,140				42,850	37,380
35-39	43,650	134,960		27,150	7,090	114,000
40-44	32,100	203,130	36,510	755,150	28,730	12,670
45-49	115,340	349,860	38,430	337,140	93,970	40,900
50-54	130,630	666,840		287,050	13,670	343,000
55-59	593,120	555,140	2,136,850	192,080	108,580	54,320
60-64	1,698,740	1,102,230	1,165,660	1,383,920	293,260	116,140
65-69	2,770,490	2,044,610	3,205,930	3,464,940	895,680	477,460
70-74	4,527,370	2,511,660	1,780,820	2,123,130	626,040	476,930
75-79	454,780	57,060	62,480	123,560	121,550	41,270

【5】 3大生活習慣病の性別・年代別患者数

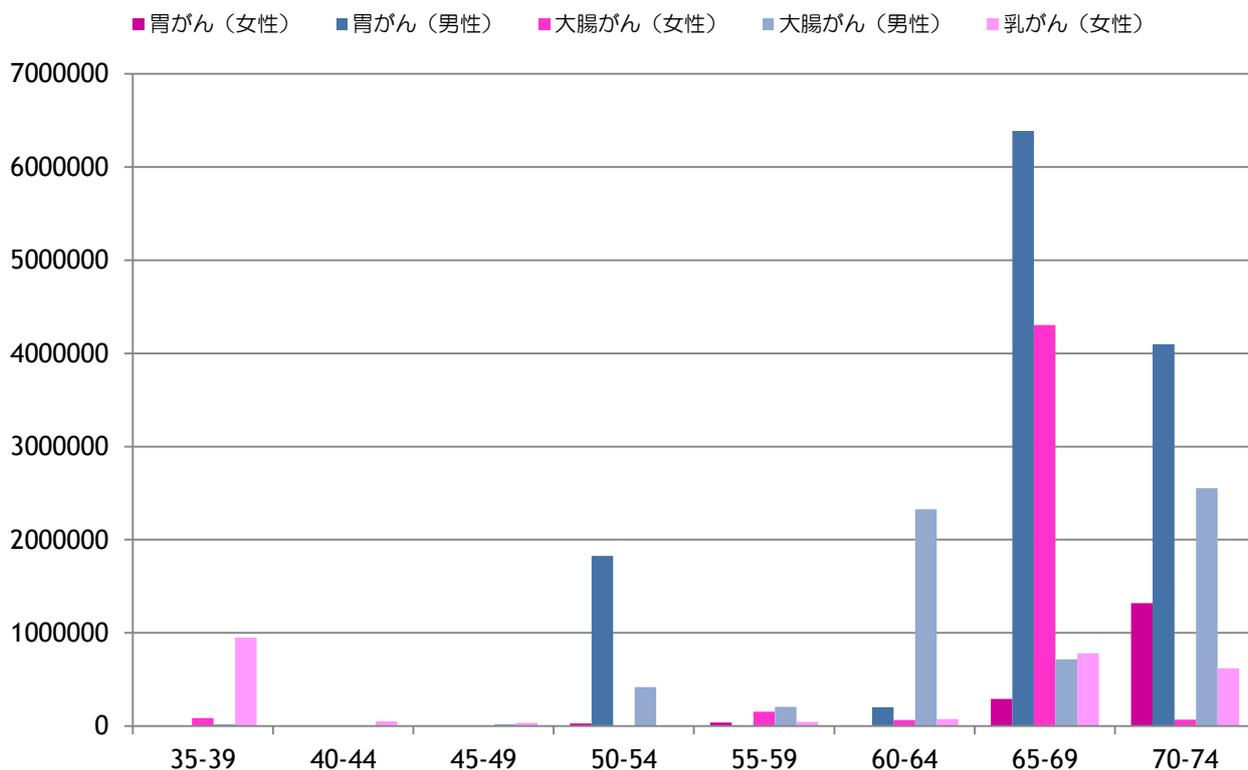


平成27年度レセプトデータ

単位：人

年代	高血圧性疾患 (男性)	糖尿病 (男性)	脂質異常症 (男性)	高血圧性疾患 (女性)	糖尿病 (女性)	脂質異常症 (女性)
1-4		1	4			9
5-9			6			1
10-14		2	6		1	7
15-19			1			2
20-24	1		5		1	5
25-29		1	1	1		5
30-34		1	3	1	2	3
35-39	5	5	10	3	1	5
40-44	5	2	7	3	6	10
45-49	9	10	9	5	5	11
50-54	21	18	22	4	5	7
55-59	19	14	21	24	11	18
60-64	44	29	36	38	28	36
65-69	78	64	71	91	59	81
70-74	76	49	51	81	46	60
75-79	10	4	7	22	5	12

【6】 予防可能な3大がんの性別・年代別医療費推移

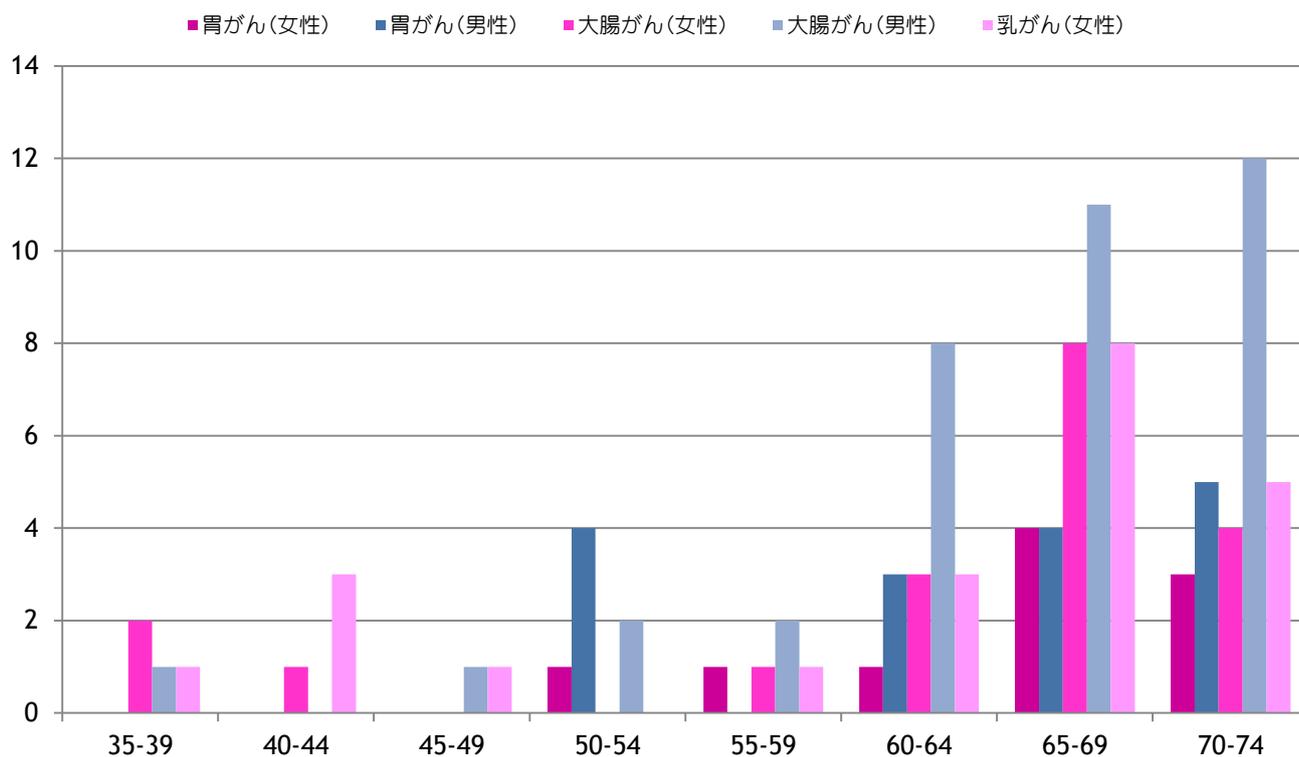


平成 27 年度レセプトデータ

単位：円

	胃がん （女性）	胃がん （男性）	大腸がん （女性）	大腸がん （男性）	乳がん （女性）
35-39			86,730	19,220	948,250
40-44			8,190		51,650
45-49				20,990	33,390
50-54	28,650	1,826,360		419,710	
55-59	37,330		156,120	205,290	45,200
60-64	6,030	200,970	64,460	2,327,700	76,430
65-69	291,320	6,388,250	4,304,070	715,480	781,960
70-74	1,317,960	4,096,960	69,670	2,553,080	619,560

【7】 予防可能な3大がんの性別・年代別患者数の推移

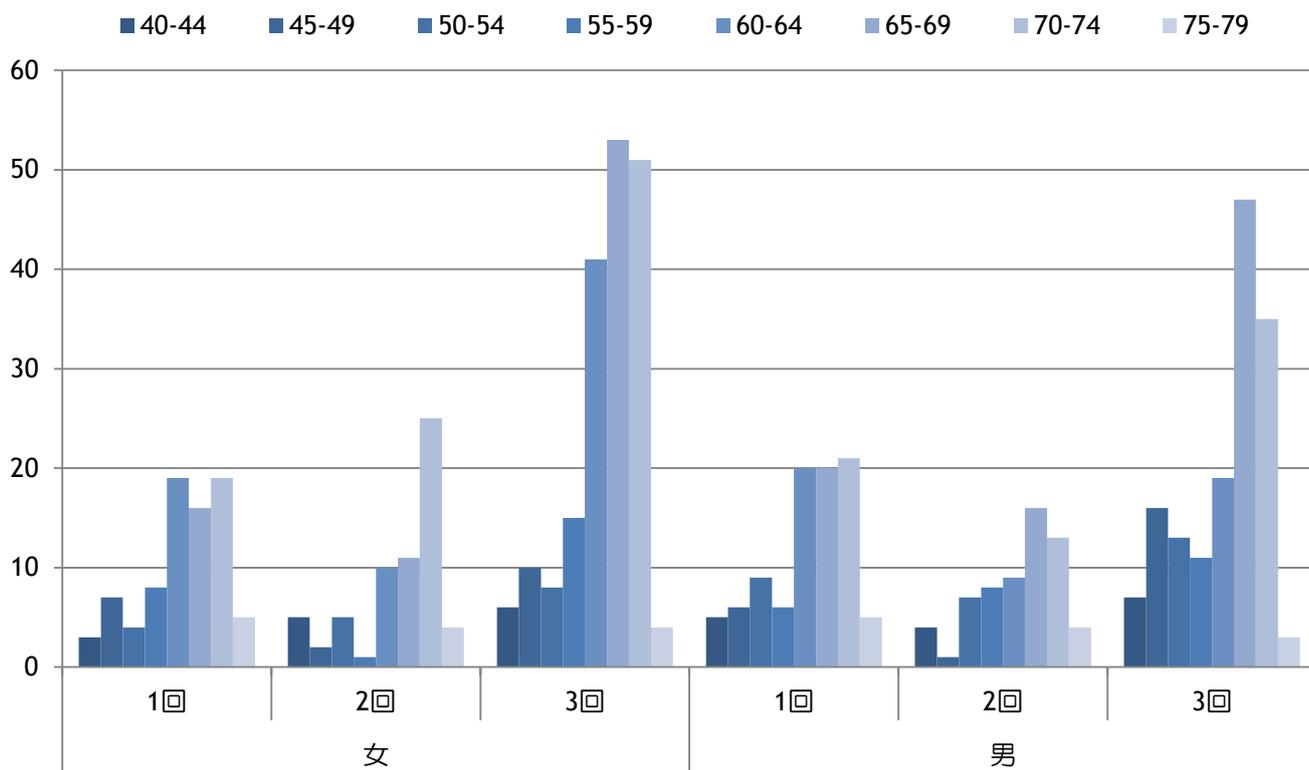


平成 27 年度レセプトデータ

単位：人

年代	胃がん (女性)	胃がん (男性)	大腸がん (女性)	大腸がん (男性)	乳がん (女性)
35-39			2	1	1
40-44			1		3
45-49				1	1
50-54	1	4		2	
55-59	1		1	2	1
60-64	1	3	3	8	3
65-69	4	4	8	11	8
70-74	3	5	4	12	5

【8】2012-2014 年度の性別・年代別健診回数



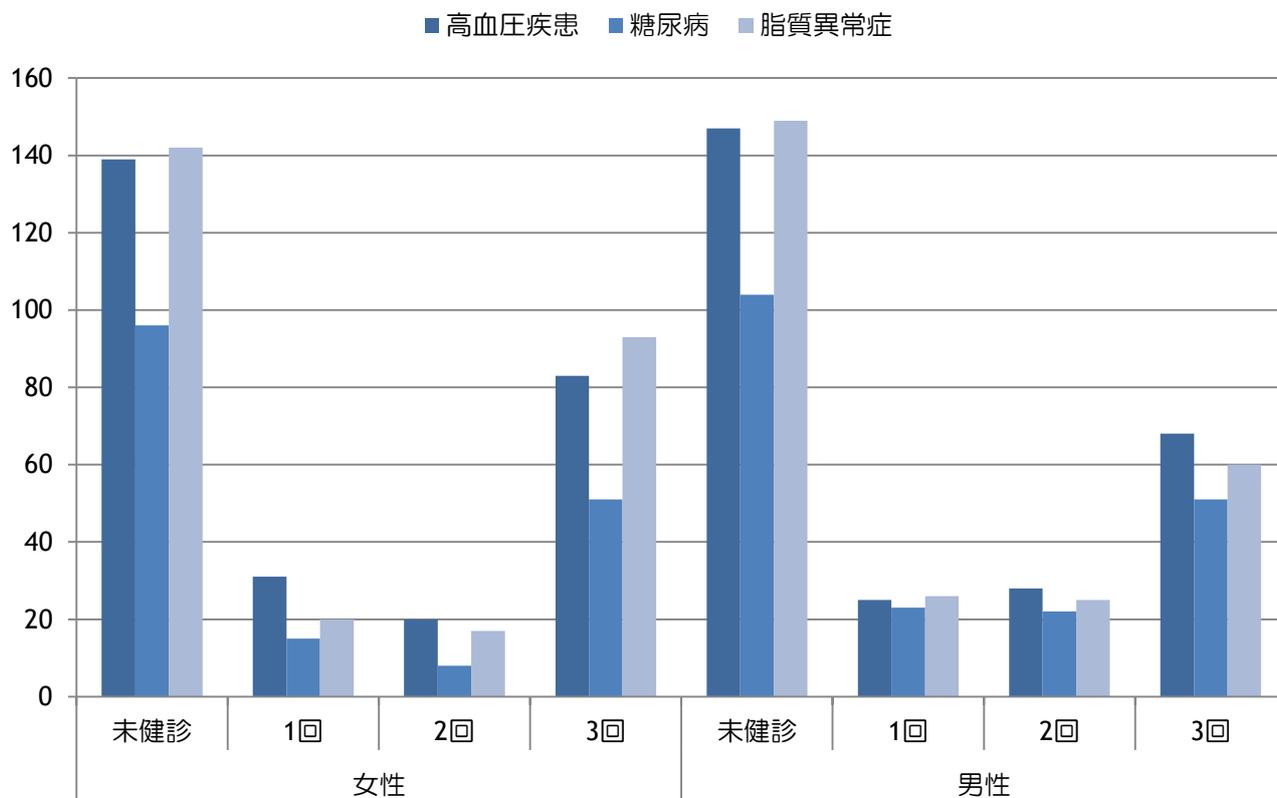
2012-2014 年度健診データ

単位：人

性別 健診回 数 年代	女			男		
	1回	2回	3回	1回	2回	3回
40-44	3	5	6	5	4	7
45-49	7	2	10	6	1	16
50-54	4	5	8	9	7	13
55-59	8	1	15	6	8	11
60-64	19	10	41	20	9	19
65-69	16	11	53	20	16	47
70-74	19	25	51	21	13	35
75-79	5	4	4	5	4	3

【9】3大生活習慣病の患者数と健診回数との関係

男女とも健診を受けていない者が最も多くなっている。

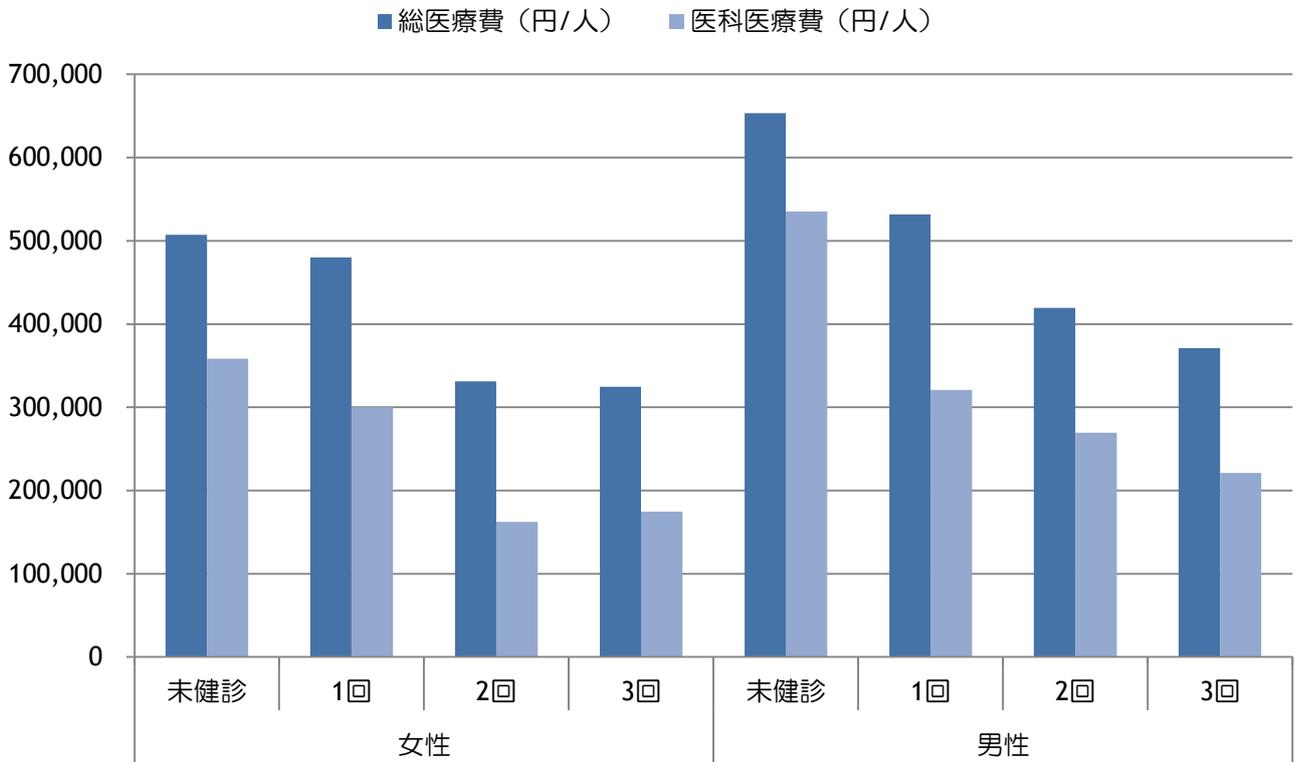


平成27年度レセプトデータと健診データを突合

単位：人

	健診回数	高血圧疾患	糖尿病	脂質異常症
女性	未健診	139	96	142
	1回	31	15	20
	2回	20	8	17
	3回	83	51	93
男性	未健診	147	104	149
	1回	25	23	26
	2回	28	22	25
	3回	68	51	60

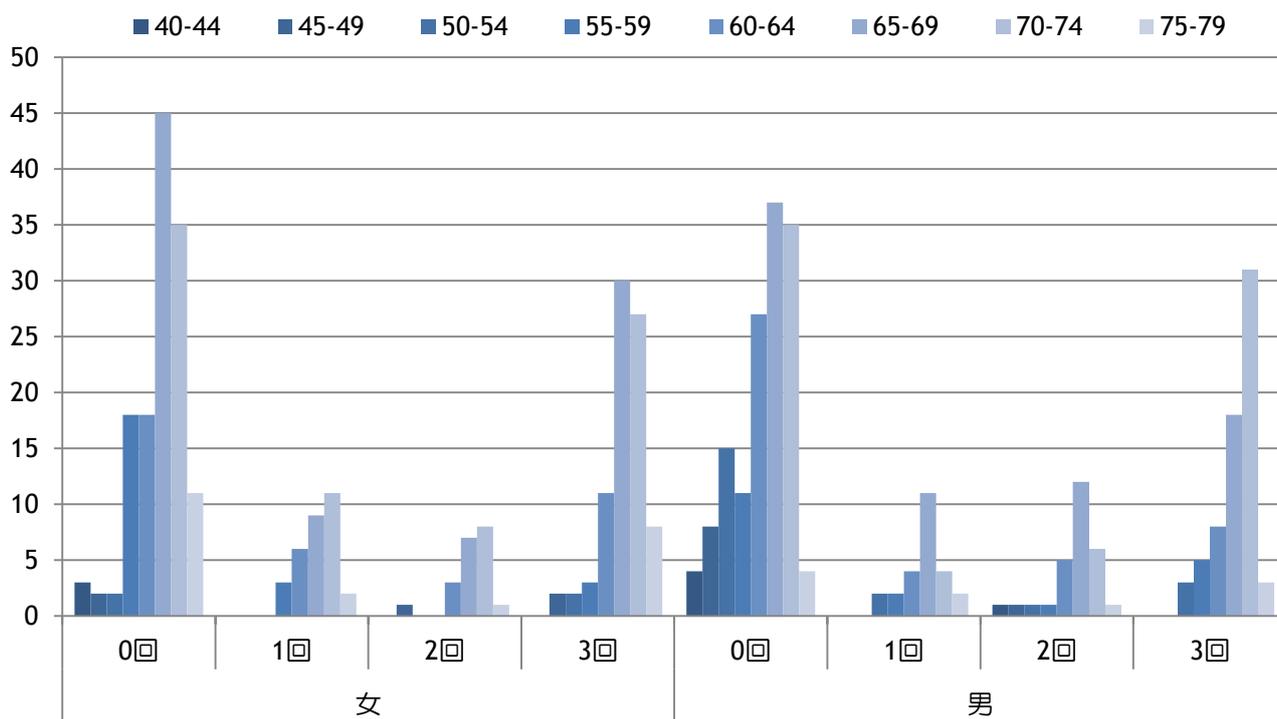
【10】 健診回数と3大生活習慣病罹患率 1人当たりの医療費との関係
 健診回数と医療費は反比例関係にある。



平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

	健診回数	総医療費(円/人)	医科医療費(円/人)
女性	未健診	507,357	358,476
	1回	480,108	300,090
	2回	330,976	162,531
	3回	324,478	174,793
男性	未健診	653,202	535,213
	1回	531,604	320,630
	2回	419,506	269,362
	3回	371,185	221,264

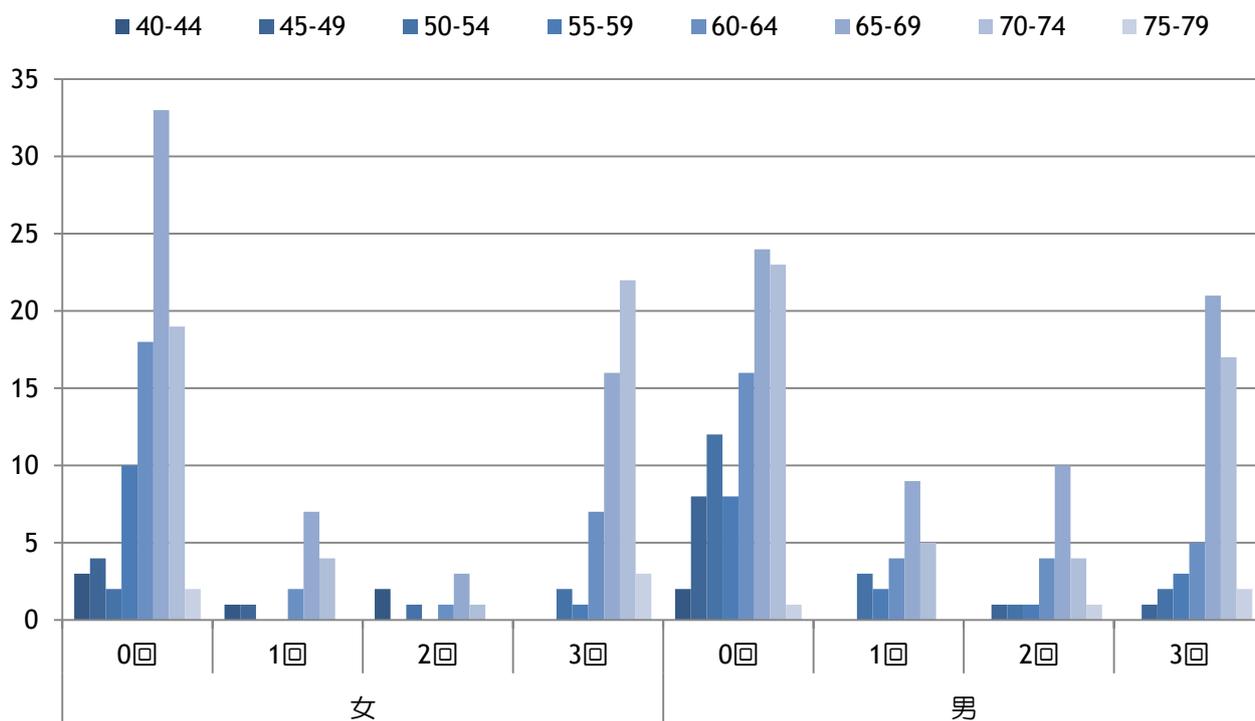
【11】 高血圧性疾患患者数と健診回数との関係



平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

性別	年代 健診回数	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
		女	0回	3	2	2	18	18	45
女	1回				3	6	9	11	2
女	2回		1			3	7	8	1
女	3回		2	2	3	11	30	27	8
男	0回	4	8	15	11	27	37	35	4
男	1回			2	2	4	11	4	2
男	2回	1	1	1	1	5	12	6	1
男	3回			3	5	8	18	31	3

【12】糖尿病患者数と健診回数との関係



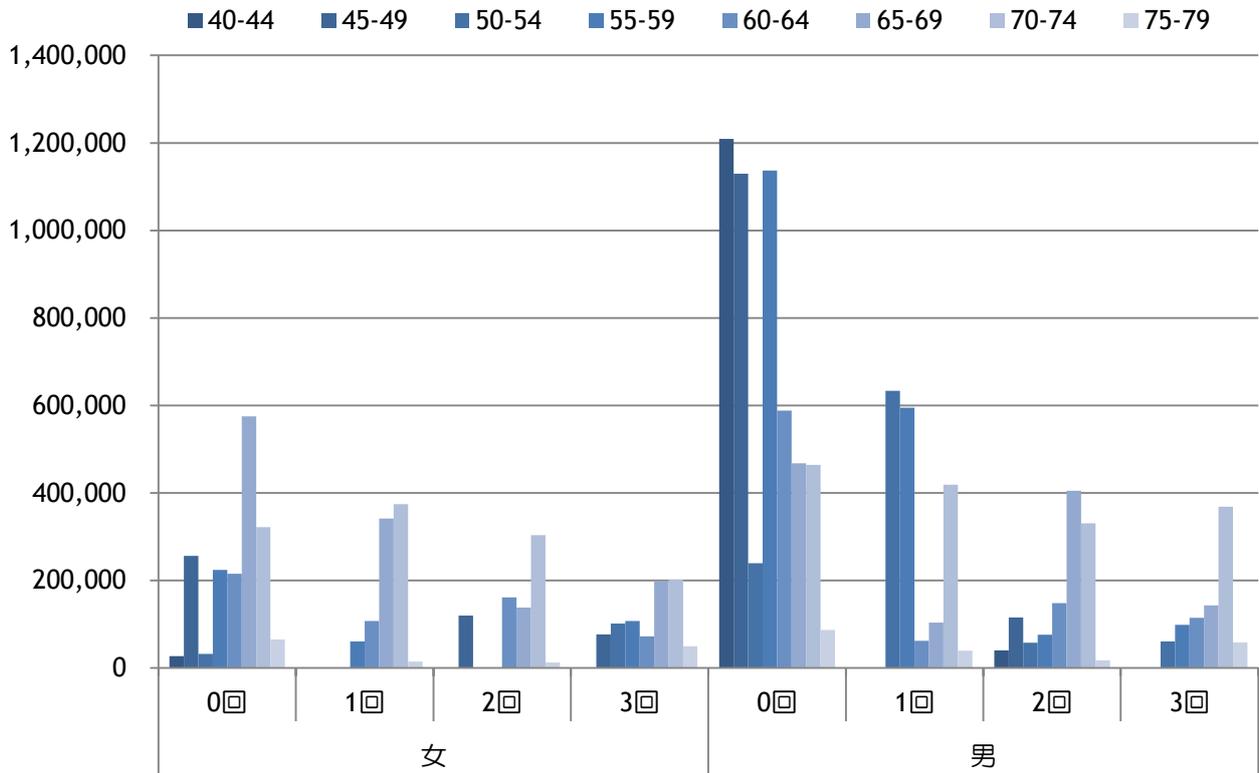
平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

●健診回数と糖尿病の患者数

単位：人

性別	年代 健診回数	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
		女	0回	3	4	2	10	18	33
	1回	1	1			2	7	4	
	2回	2		1		1	3	1	
	3回			2	1	7	16	22	3
男	0回	2	8	12	8	16	24	23	1
	1回			3	2	4	9	5	
	2回		1	1	1	4	10	4	1
	3回		1	2	3	5	21	17	2

【13】 高血圧性疾患の医療費と健診回数との関係



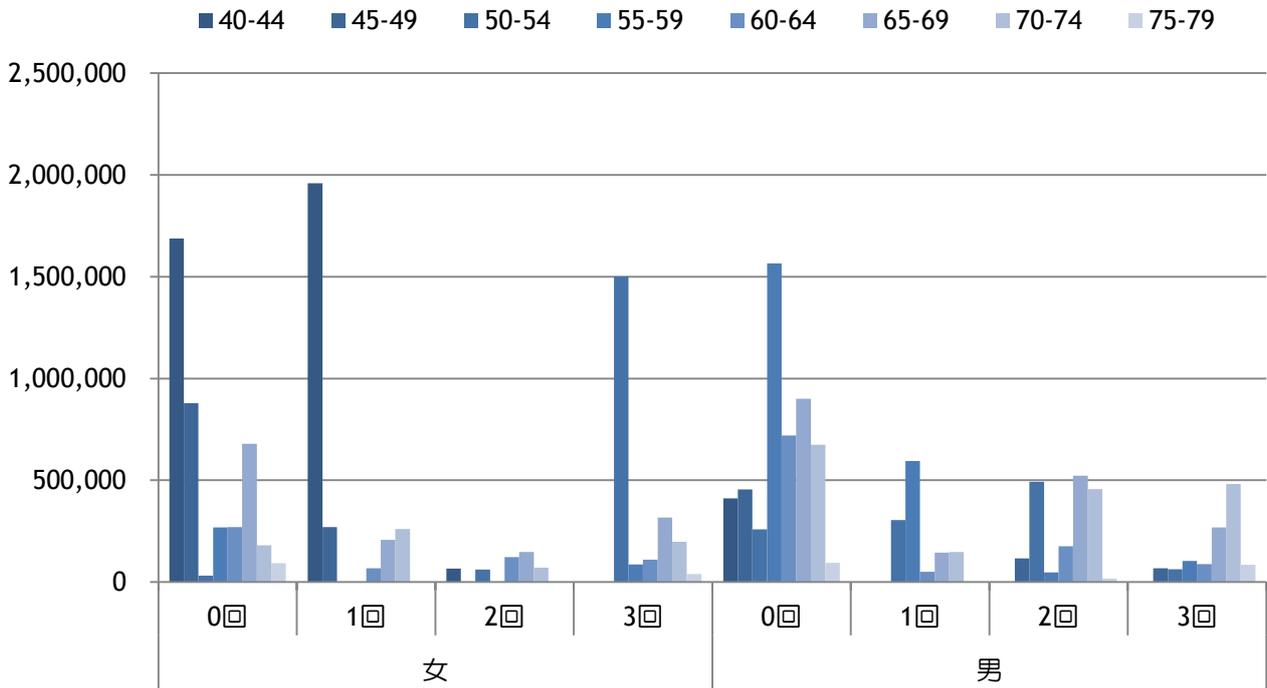
平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

● 健診回数と高血圧性疾患 1 人当りの医科医療費との関係

単位：円

性別	年代 健診回数	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
		女	0回	27,057	256,400	32,390	224,030	215,270	575,393
	1回				60,947	107,287	341,518	374,510	15,015
	2回		120,000			161,550	137,956	303,470	12,260
	3回		76,535	101,350	107,137	72,333	198,707	201,888	49,468
男	0回	1,208,813	1,129,439	239,177	1,137,219	588,183	467,679	463,892	86,898
	1回			633,515	594,600	62,195	103,911	419,203	39,415
	2回	39,990	115,600	57,570	75,930	148,338	404,994	330,628	17,420
	3回			60,320	98,788	114,774	142,766	368,755	58,277

【14】糖尿病の医療費と健診回数との関係



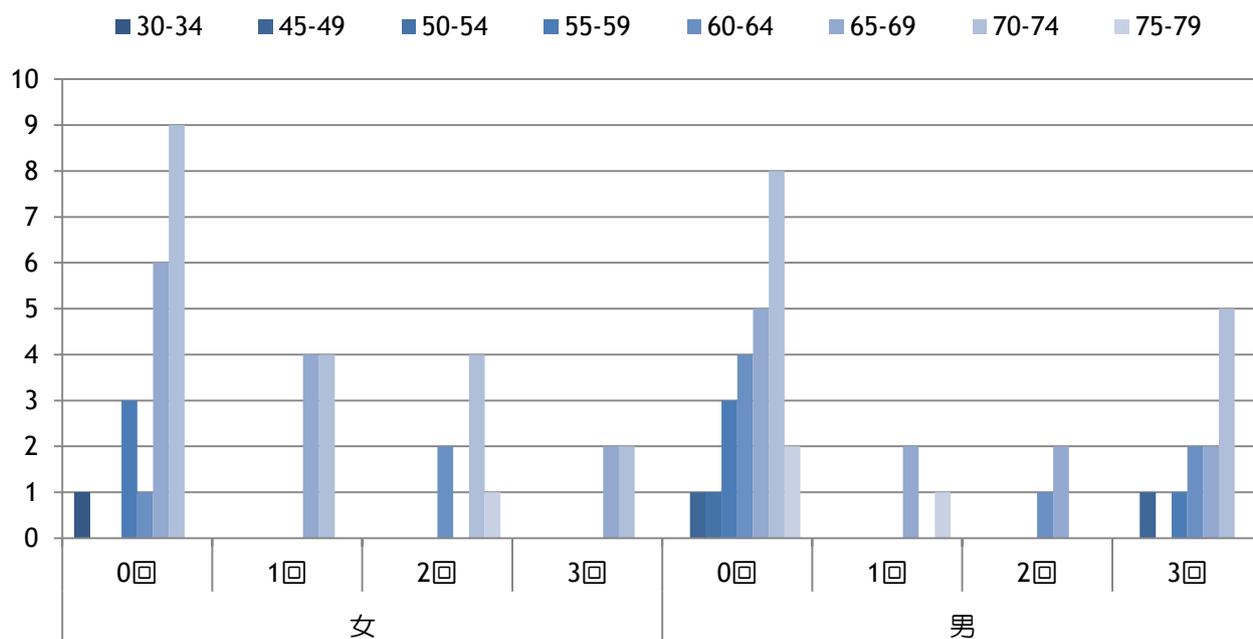
平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

●健診回数と糖尿病 1 人当りの医科医療費との関係

単位：円

性別	年代 健診回数	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
		女	0回	1,688,263	878,808	30,840	268,111	270,466	679,260
	1回	1,959,430	270,500			66,885	207,476	260,848	
	2回	66,625		60,800		122,200	148,287	70,260	
	3回			1,501,470	86,830	109,787	317,096	197,634	40,007
男	0回	411,605	455,528	259,103	1,565,316	720,060	900,262	675,405	94,410
	1回			304,130	594,600	50,003	144,683	148,316	
	2回		115,600	492,590	47,160	175,625	521,866	456,618	17,420
	3回		68,010	63,330	103,523	88,430	268,364	481,439	84,990

【15】脳卒中の患者数と健診回数との関係



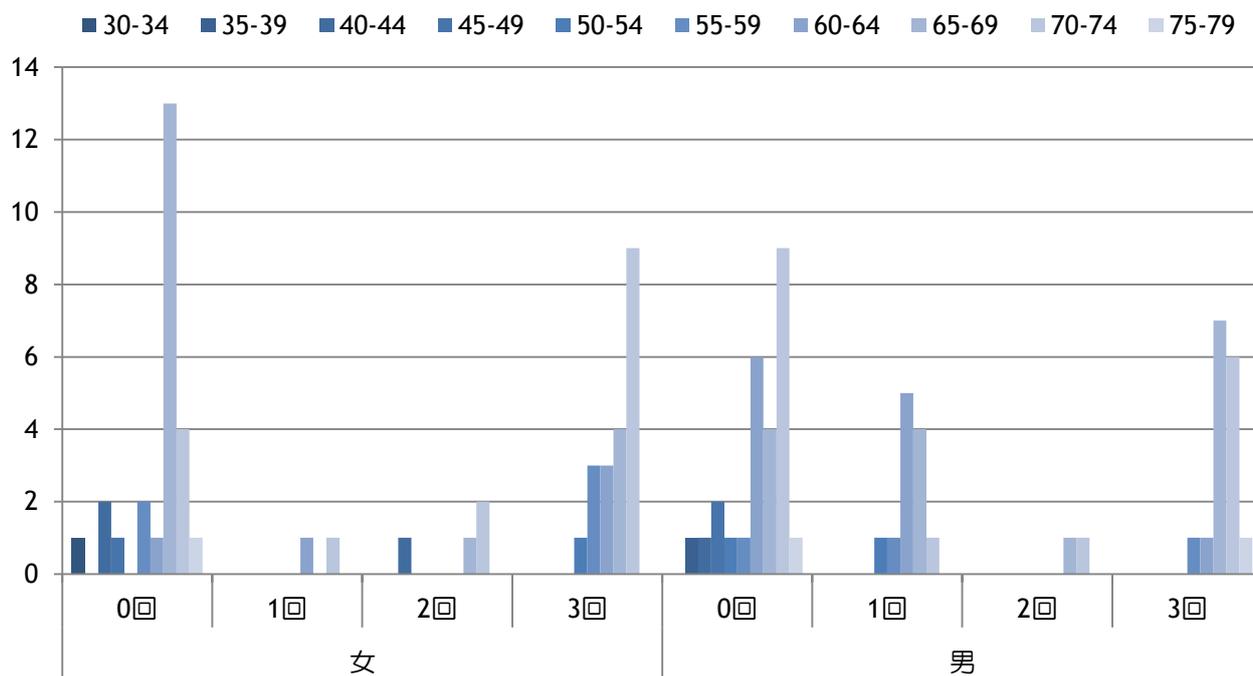
平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

●健診回数と脳卒中の患者数

単位：人

性別	女				男				
	健診回数	0回	1回	2回	3回	0回	1回	2回	3回
年代									
40-44		1							
45-49						1			1
50-54						1			
55-59		3				3			1
60-64		1		2		4		1	2
65-69		6	4		2	5	2	2	2
70-74		9	4	4	2	8			5
75-79				1		2	1		

【16】 虚血性心疾患の患者数と健診回数との関係



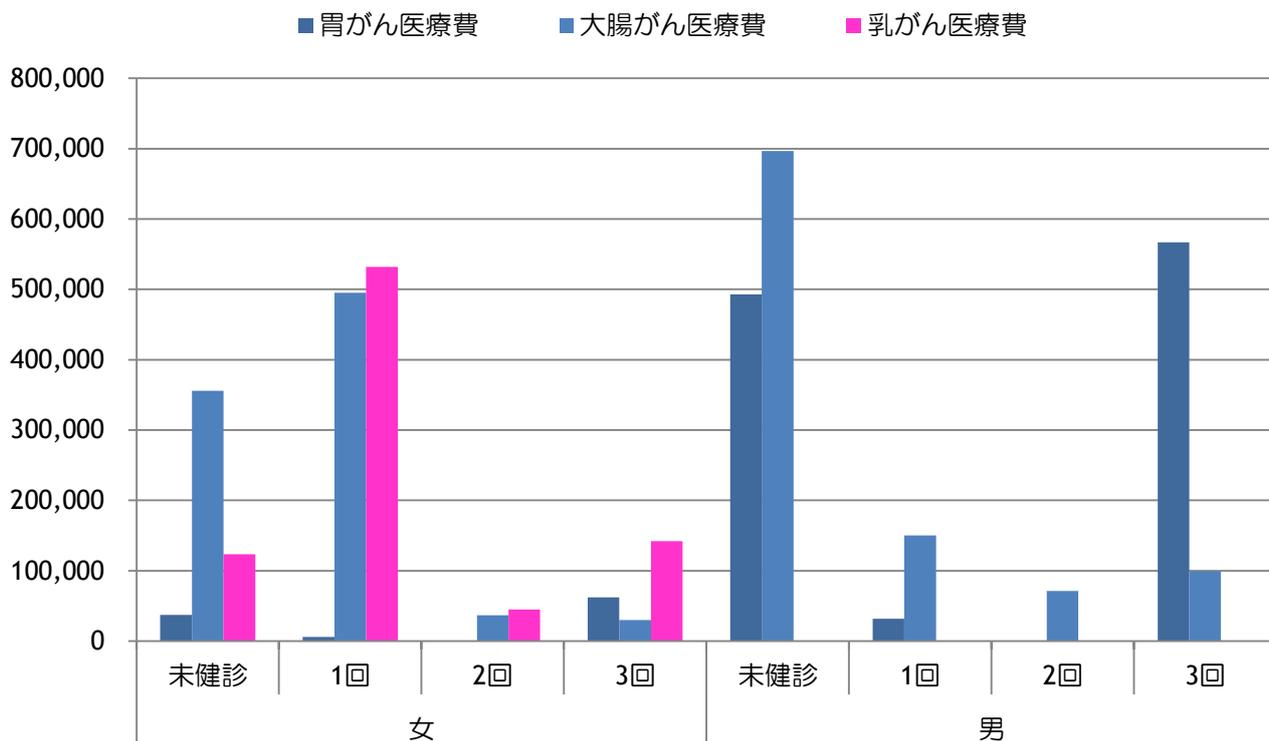
平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

● 健診回数と虚血性心疾患の患者数

単位：人

性別 健診回数 年代	女				男			
	0回	1回	2回	3回	0回	1回	2回	3回
30-34	1							
35-39					1			
40-44	2		1		1			
45-49	1				2			
50-54				1	1	1		
55-59	2			3	1	1		1
60-64	1	1		3	6	5		1
65-69	13		1	4	4	4	1	7
70-74	4	1	2	9	9	1	1	6
75-79	1				1			1

【17】 3大がんの健診回数と1人当り医療費の関係



平成27年度レセプトデータと健診データを突合

単位:円

性別	健診回数	胃がん医療費	大腸がん医療費	乳がん医療費	がん医療費総計
女	未健診	37,330	355,927	123,607	209,161
	1回	6,030	495,243	532,140	447,928
	2回		36,605	44,760	41,498
	3回	61,910	29,716	141,855	80,657
男	未健診	493,080	696,766		656,029
	1回	31,843	150,190		91,017
	2回		71,323		71,323
	3回	567,103	99,383		233,017

【18】発症リスクを1軸で推定するリスクポイントと予測システム

発症及び重症化が予測される方を選択するために下のリスクポイント表に基づき、ハイリスク者を抽出した。

リスク数		単位	リスクポイント		
			0	1	2
1	性別		女性	男性	
2	年齢(前期高齢者)	歳	男性<45 女性<55	45≤男性<65 55≤女性<65	65≤年齢
3	肥満度	腹囲 cm	BMI<25 かつ 腹囲:男性 85 未満 女性 90 未満	25≤BMI<30 または 腹囲:男性 85 以上 女性 90 以上	30≤BMI
4	血圧	mmHg	収縮期<140 かつ 拡張期<90	140≤収縮期<160 または 90≤拡張期<100	160≤収縮期 または 100≤拡張期
5	血糖値	BS mg/dl	BS<100 かつ HbA1c<5.6	100≤BS または 5.6≤HbA1c	126≤BS または 6.5≤HbA1c
6	脂質(HDL-C/TG)	mg/dl	TG<150 かつ 40≤HDL	150≤TG<300 または 35≤HDL<40	300≤TG または HDL<35
7	脂質 LDL-C	mg/dl	LDL<140	140≤LDL<160	160≤LDL
8	血中Cr	mg/dl	男性:Cr<1.0 または 女性:Cr<0.8	1.0≤男性<2.0 または 0.8≤女性<1.4	男性:2.0≤Cr 女性:1.4≤Cr
9	尿蛋白		—	±	+~++++
10	服薬)血圧		服薬なし	服薬あり	*服薬あり かつ 降圧目標の値を上回る者
11	服薬)血糖		服薬なし	服薬あり	*服薬あり かつ 100≤BS または 5.6≤HbA1c
12	服薬)脂質		服薬なし	服薬あり	*服薬あり かつ 150≤TG または HDL<40 , 140≤LDL
13	服薬)脳卒中		既往歴がない		既往歴がある
14	服薬)心臓病		既往歴がない		既往歴がある
15	服薬)腎疾患				既往歴がある
16	喫煙		吸わない	吸う	
17	飲酒		飲まない (純アルコール 50g以下)	飲む (純アルコール 50g以下)	
18	家族歴		1親等以内に対象疾病発症 者がいない	1親等以内に対象疾病発症 者がいる	

①日本心臓財団 日本循環器学会(2006年改訂版)を参考に作成された虚血性心疾患の一次予防ガイドライン

②日本肥満学会 肥満の判定基準2000

③日本高血圧学会 高血圧治療ガイドライン2009

④日本糖尿病学会 糖尿病治療マニュアル2009

⑤メタボリックシンドローム診断基準検討委員会 メタボリックシンドロームの診断基準2005

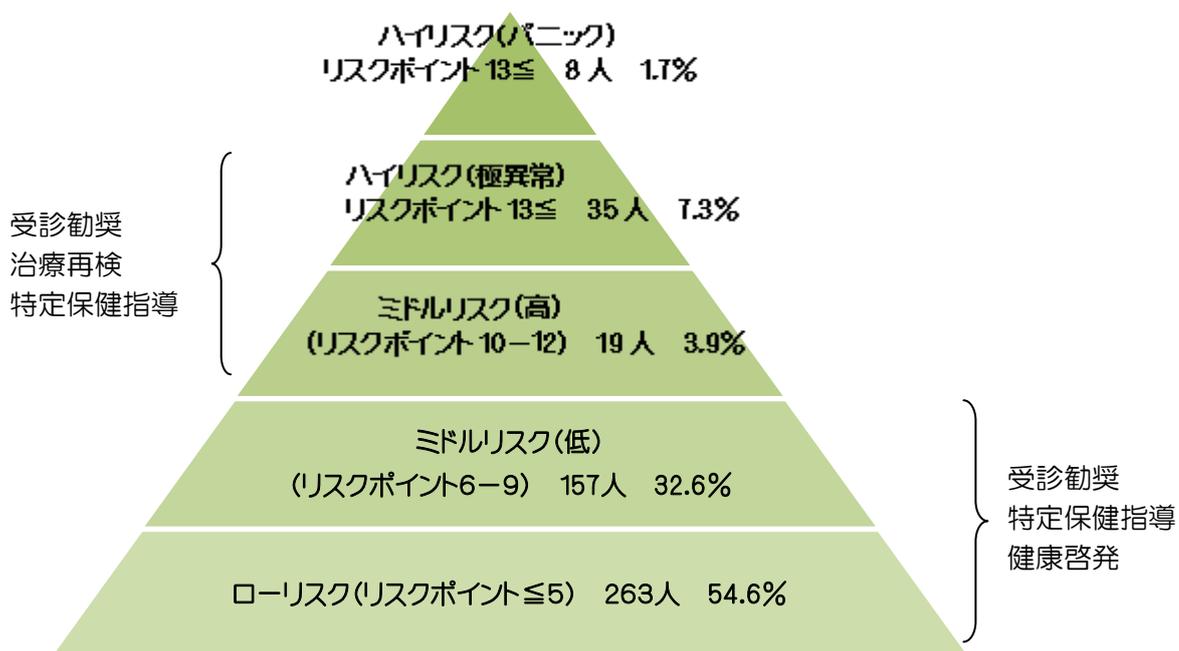
⑥日本動脈硬化学会 動脈硬化性疾患診療ガイドライン2007

⑦老人保健法による健康診査マニュアル

⑧日本腎臓学会 CKD 診療ガイド2007 GFR 値早見表

●リスクポイントは上記の基準と(株)ウェル・ビーイングがこれまでに解析した約70万人のレセプト及び健診データの相関性から社会医療法人財団石心会川崎幸病院副院長沢丞医師(糖尿病専門医・産業医)監修の下に作成した。

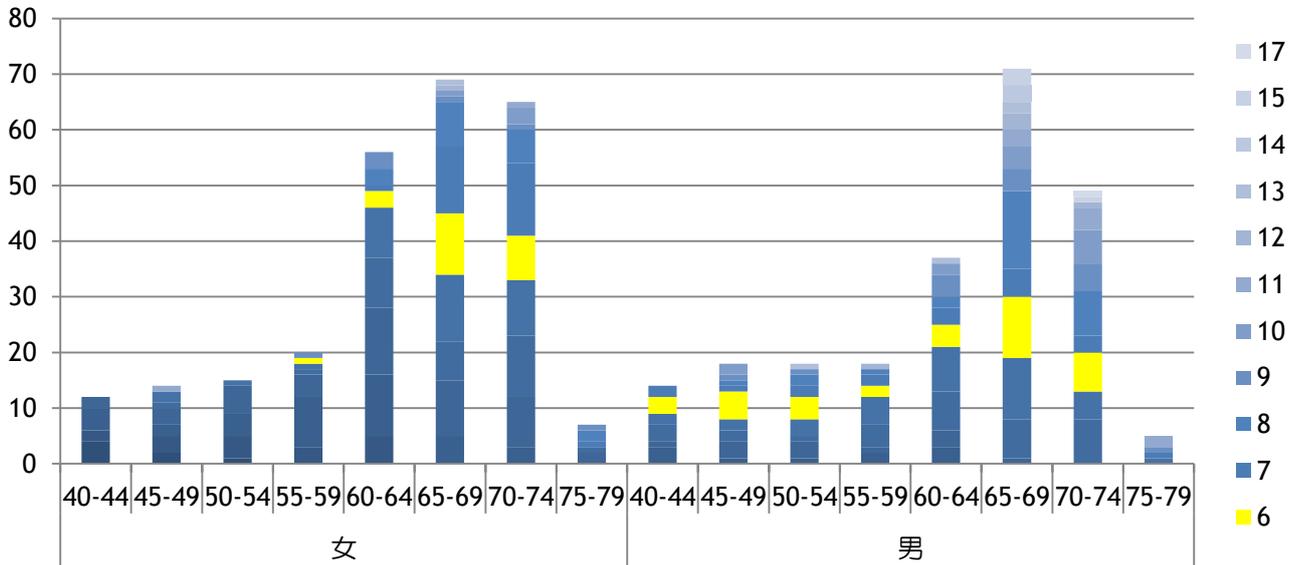
【19】2014年度の健診結果に基づく健康ピラミッド



%	対応区分	健診データ区分	人数	%	リスク区分	%
1.7	緊急対応	パニック	8	1.7	ハイリスク	8.9
11.2	受診勧奨 治療再検 特定保健指導	極異常及び RP ≥ 13	35	7.3		
		RP 10-12	19	3.9	ミドルリスク	36.5
87.1	受診勧奨 特定保健指導 健康啓発	RP 6-9	157	32.6		
		RP ≤ 5	263	54.6		

【20】性別・年代別リスクポイント分布

65歳以上の男性の7割以上は、生活習慣病の発症の可能性が出てくる「リスク6（黄）」以上となっている。一方、65歳以上の女性の「リスク6」以上は約5割である。



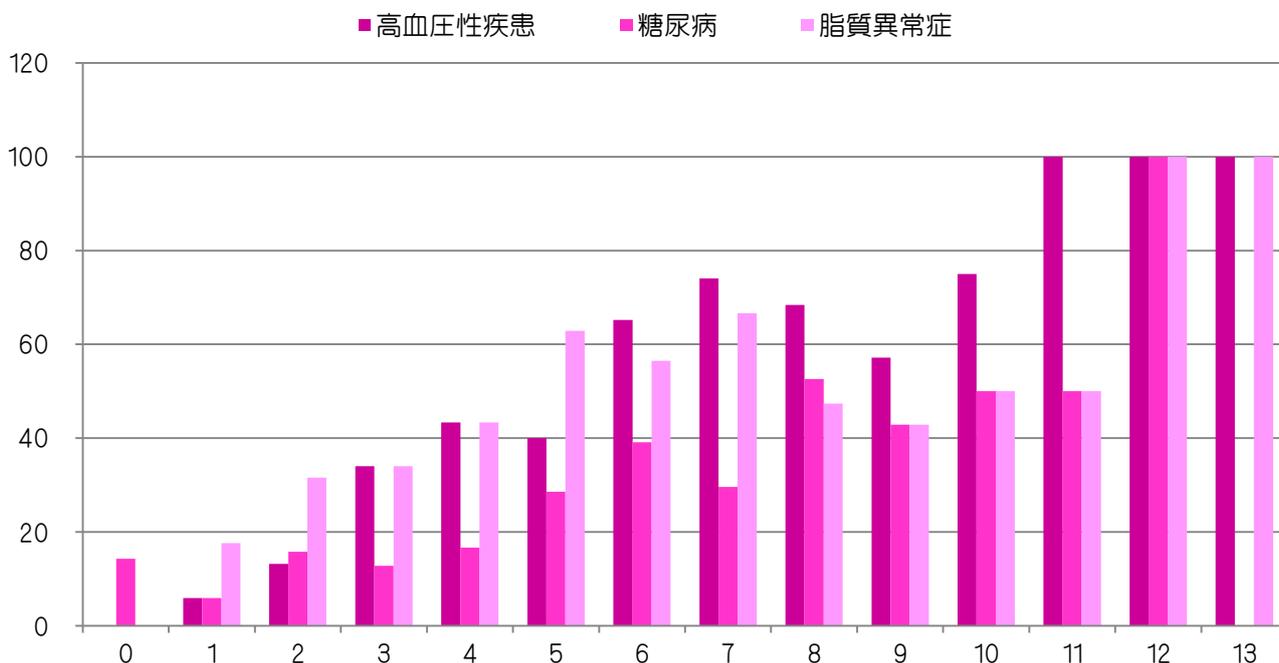
2014年度健診データ

単位：人

性別	女								男								
	年代	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
0	4	2	1														
1	2	3	4	3	5												
2	4	2	4	9	11	5	3		3	1	1	2	3				
3	2	3	5	4	12	10	9	2	1	3	3	1	3	1			
4		1		1	9	7	11	1	3	2	1	4	7	7	8		
5		2	1	1	9	12	10		2	2	3	5	8	11	5	1	
6				1	3	11	8		3	5	4	2	4	11	7		
7					1	12	13	1	2	1	2	2	3	5	3	1	
8					3	8	6	2		1	2	1	2	14	8		
9				1	3	1	1	1		1	1		4	4	5	1	
10						1	3			2			2	4	6		
11		1					1							3	4	2	
12						1						1		3	1		
13						1					1		1	2			
14														3			
15														3	1		
16																	
17															1		

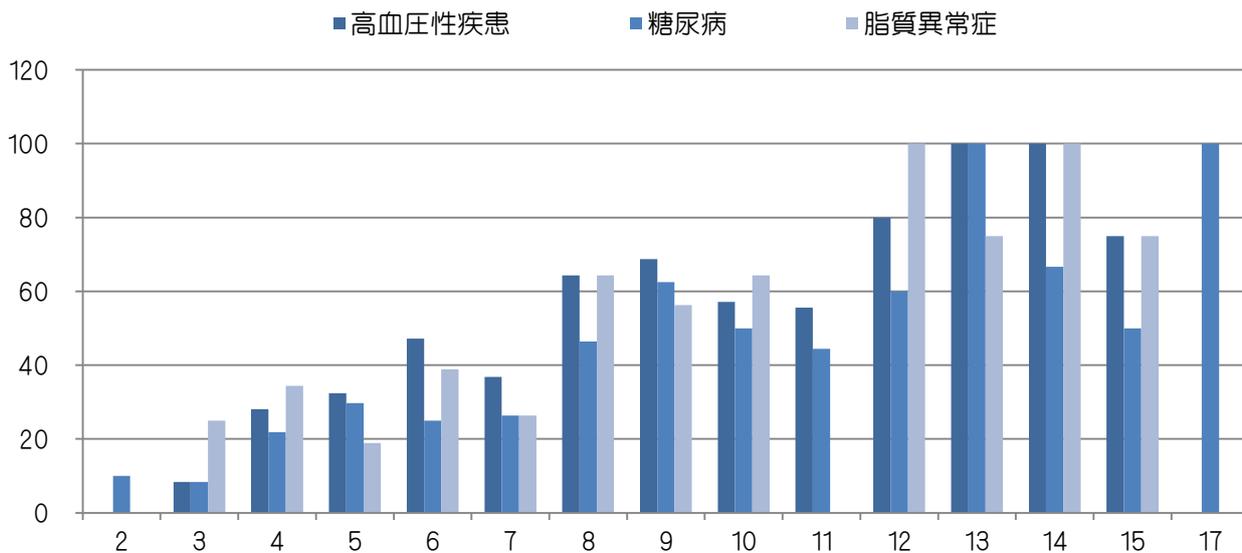
【21】 リスクポイントと3大生活習慣病の発症率

<女性>



平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

<男性>



平成 27 年度レセプトデータと健診データを突合

●リスクポイントと3大生活習慣病の発症率

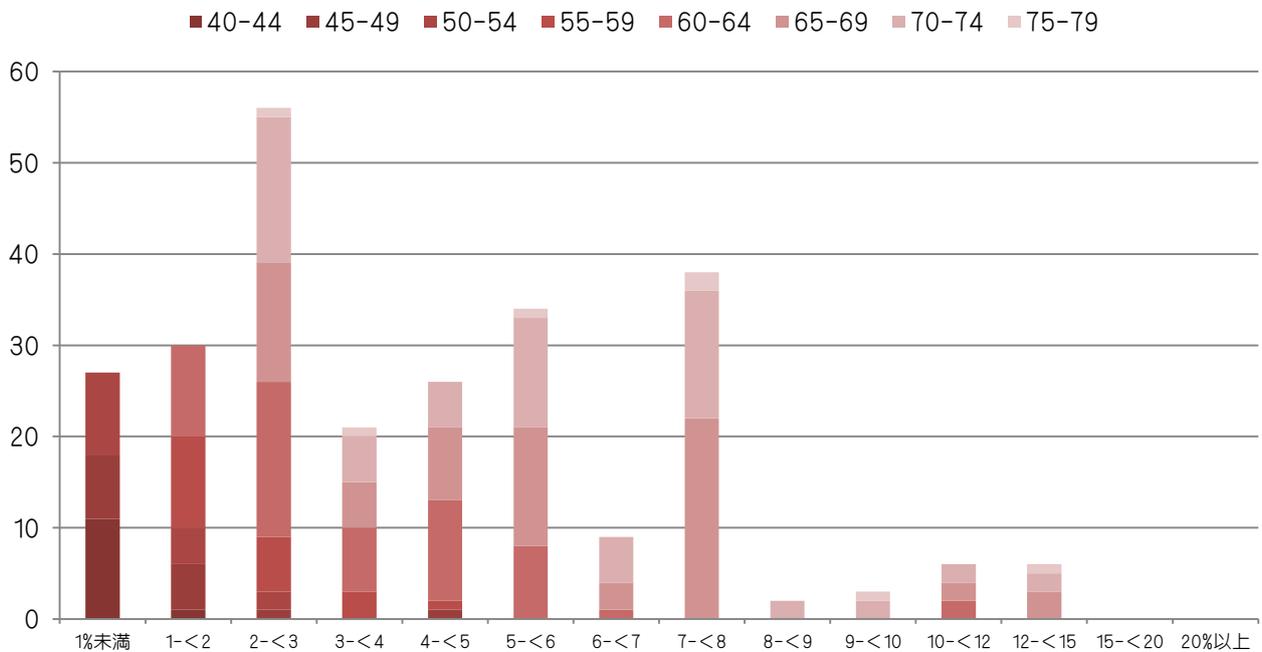
	リスクポイント	高血圧性疾患	糖尿病	脂質異常症
女	0	0	14	0
	1	6	6	18
	2	13	16	32
	3	34	13	34
	4	43	17	43
	5	40	29	63
	6	65	39	57
	7	74	30	67
	8	68	53	47
	9	57	43	43
	10	75	50	50
	11	100	50	50
	12	100	100	100
	13	100	0	100
男	2	0	10	0
	3	8	8	25
	4	28	22	34
	5	32	30	19
	6	47	25	39
	7	37	26	26
	8	64	46	64
	9	69	63	56
	10	57	50	64
	11	56	44	0
	12	80	60	100
	13	100	100	75
	14	100	67	100
	15	75	50	75
17	0	100	0	

【22】 10年以内の脳卒中発症率

喫煙、肥満度、年齢等7つの要因を分析計算し、脳卒中の発症率を示したのが下のグラフである。(国立がん研究センターのコホート研究)

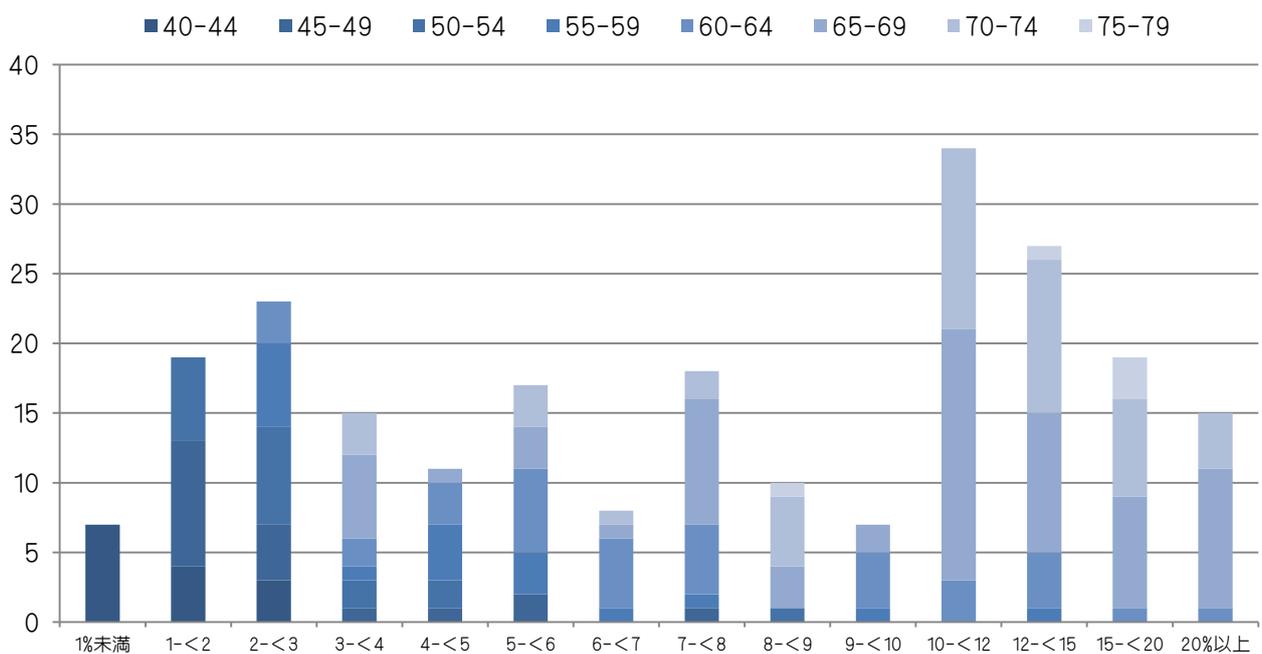
男性の方が、圧倒的に発症率が高い。

<女性>



2013年の国立がん研究センターのコホート研究の計算式より算出

<男性>



単位：人

性別	年代 発症率	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
	女	1%未満	11	7	9				
1-<2		1	5	4	10	10			
2-<3			1	2	6	17	13	16	1
3-<4					3	7	5	5	1
4-<5			1		1	11	8	5	
5-<6						8	13	12	1
6-<7						1	3	5	
7-<8							22	14	2
8-<9								2	
9-<10								2	1
10-<12						2	2	2	
12-<15							3	2	1
15-<20									
20%以上									

2014 年度健診データ

性別	年代 発症率	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
	男	1%未満	7						
1-<2		4	9	6					
2-<3		3	4	7	6	3			
3-<4			1	2	1	2	6	3	
4-<5			1	2	4	3	1		
5-<6			2		3	6	3	3	
6-<7					1	5	1	1	
7-<8			1		1	5	9	2	
8-<9				1			3	5	1
9-<10					1	4	2		
10-<12						3	18	13	
12-<15					1	4	10	11	1
15-<20						1	8	7	3
20%以上						1	10	4	

2014 年度健診データ

保健事業実施事業計画（データヘルス計画）
《平成28年度～平成29年度》

発行 青森県 横浜町 平成29年3月

編集 横浜町 町民課
住所 〒039-4145
青森県上北郡横浜町字寺下35
電話 0175-78-2111（代表）
F a x 0175-78-2118